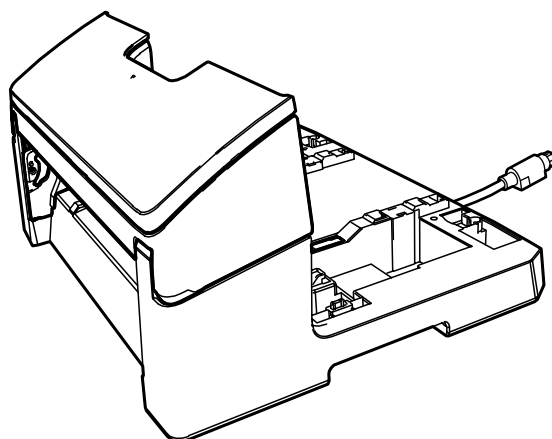


RICOH fi-760PRB インプリンタ

オペレーターガイド



目次

はじめに	4
商標および登録商標	4
開発・販売元	4
発行日・発行責任	4
安全にお使いいただくために	4
本書での略記	4
連続する操作の表記	5
本書に掲載している画面	5
お願い	6
お使いになる前に	7
本体と付属品の確認	7
各部の名称	7
インプリンタ単体のとき	7
スキャナーに取り付けたとき	8
インプリンタ内部	9
取り付けと印字テスト	10
インプリンタの取り付け	10
プリントカートリッジの取り付け	17
印字テスト	21
印字パターンと印字結果	22
基本的な操作方法	24
印字位置の合わせ方	24
原稿づまり防止ガイドの使い方	26
A6 縦サイズよりも幅が広い原稿の端に印字する場合	27
原稿づまり防止ガイドの取り外し方	29
原稿づまり防止ガイドの取り付け方	29
印字設定	30
プリントカートリッジの交換	31
原稿づまりの解除方法	35
日常のお手入れ	37

プリントカートリッジの清掃	37
インプリンタの清掃	38
ローラーの清掃.....	41
清掃用品	44
エラーメッセージ	45
装置ラベルの確認	48
仕様	49
修理・お問い合わせ	52
修理サービスのご案内	52
お問い合わせ窓口	53
サプライ用品の購入先.....	53

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、RICOH fi-8600 および RICOH fi-7600 で使用するオプションユニットで、読み取った原稿にアルファベットや数字などの文字列を印字するインプリンタです。

本書は、本製品の設置と接続、基本的な操作方法、および日常のお手入れについて説明しています。本書に従って正しくお使いください。

RICOH fi-8600 および RICOH fi-7600 の使い方は、RICOH fi-8600/fi-8700/fi-8700S オペレーターガイドおよび RICOH Image Scanner fi-7600/fi-7700/fi-7700S オペレーターガイドを参照してください。

本書が本製品を活用していただくために、皆様のお役に立つことを願っております。

商標および登録商標

Microsoft、Windows、および Windows Server は、マイクロソフトグループの企業の商標です。

PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU

〒220-8567

神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5（横浜アイマークプレイス）

発行日・発行責任

発行日 2026 年 8 月

発行責任 株式会社 PFU

Regulatory Model : P3740D

© PFU Limited 2017-2026

安全にお使いいただくために

添付の安全上のご注意には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に安全上のご注意を必ずお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本書での略記

本書では、以下の名称について省略して記載しています。

名称	本文中の表記
Windows® 10 Home (32/64 ビット) Windows® 10 Pro (32/64 ビット) Windows® 10 Enterprise (32/64 ビット) Windows® 10 Education (32/64 ビット)	Windows 10 (*1)
Windows® 11 Home (64 ビット) Windows® 11 Pro (64 ビット) Windows® 11 Enterprise (64 ビット) Windows® 11 Education (64 ビット)	Windows 11 (*1)
Windows Server® 2016 Standard (64 ビット)	Windows Server 2016 (*1)
Windows Server® 2019 Standard (64 ビット)	Windows Server 2019 (*1)
Windows Server® 2022 Standard (64 ビット)	Windows Server 2022 (*1)
Windows Server® 2025 Standard (64 ビット)	Windows Server 2025 (*1)
PaperStream IP (TWAIN) PaperStream IP (TWAIN x64) PaperStream IP (ISIS) fi-8000 Series	PaperStream IP ドライバー
RICOH fi-760PRB インプリンタ	インプリンタ
RICOH fi-8600 RICOH fi-7600	スキャナー
RICOH fi-8600/fi-8700/fi-8700S オペレーターガイド RICOH Image Scanner fi-7600/fi-7700/fi-7700S オペレーターガイド	オペレーターガイド

*1：すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例：「スタート」メニュー→「コントロール パネル」をクリックします。

本書に掲載している画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。

なお、本書に掲載している画面は、PaperStream IP ドライバーのものであります。

本書では、Windows 10 の画面を例に説明しています。オペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。また、ソフトウェアをアップデートすると、本書で掲載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデートするときに提供されるマニュアルを参照してください。

お願い

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。

お使いになる前に

本体と付属品の確認

添付の「本体と付属品の確認（リスト）」をご確認のうえ、梱包品がすべて揃っているかどうかを確認してください。

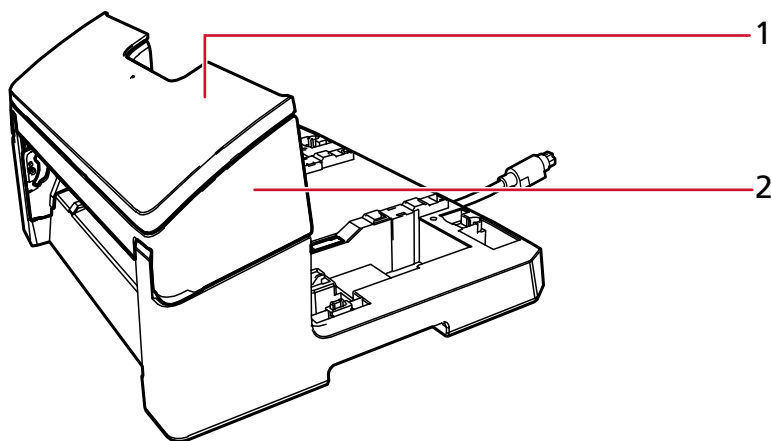
万一、足りないものや不良品がありましたら、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (53 ページ) に連絡してください。

なお、本体と付属品は丁寧に取り扱いってください。

各部の名称

インプリンタ単体のとき

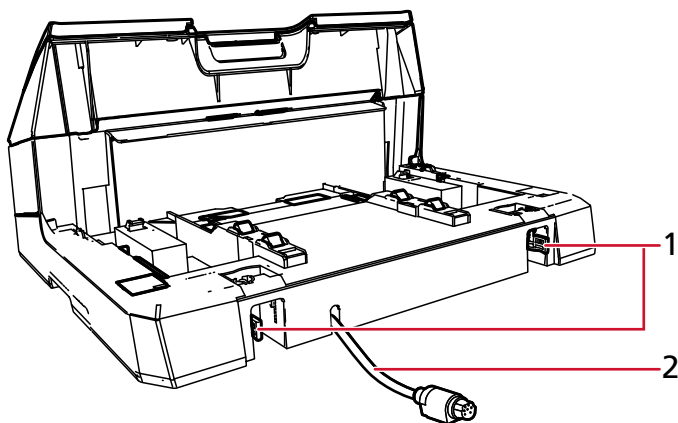
- 前面



1 インクカバー

2 印字部（インプリンタカバー）

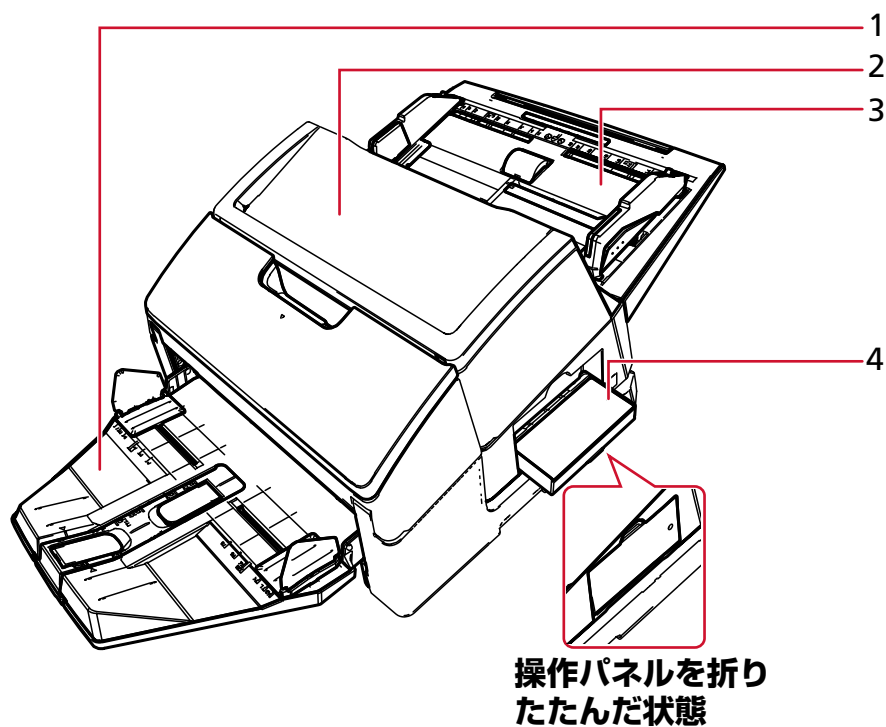
- 背面



- 1 ロックレバー
- 2 EXT ケーブル（インプリンタケーブル）

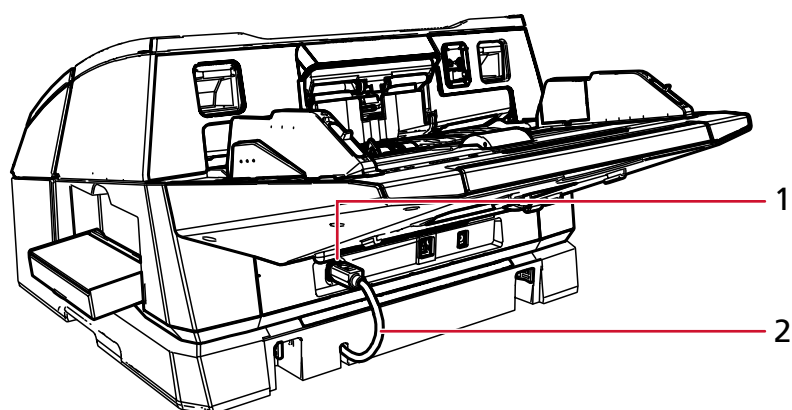
スキャナーに取り付けたとき

● 前面



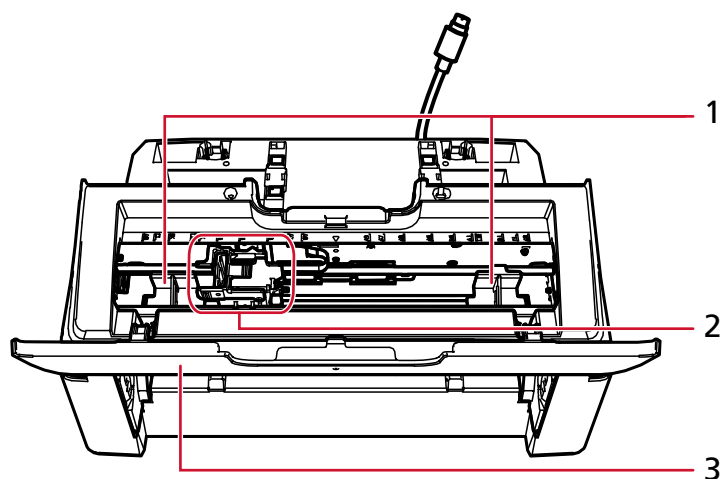
- 1 スタッカー
- 2 ADF（自動給紙機構）
- 3 ADF 給紙シュート（フィーダー）
- 4 操作パネル

● 背面



- 1 EXT コネクター
- 2 EXT ケーブル (インプリンタケーブル)

インプリンタ内部



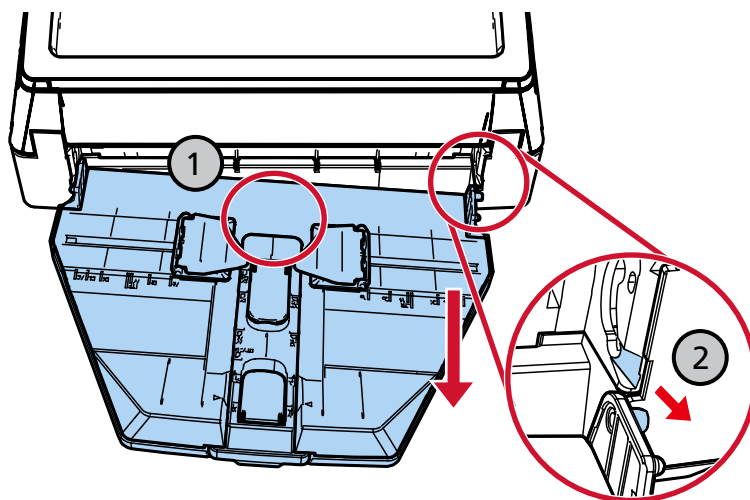
- 1 原稿づまり防止ガイド
- 2 プリントカートリッジホルダー
- 3 インクカバー

取り付けと印字テスト

インプリンタの取り付け

以下の手順でインプリンタを取り付けます。

- 1 スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルを抜きます。
- 2 スキャナーからスタッカーを取り外します。
 - a スタッカーが下段になっているかを確認します。
スタッカーを少し立てて斜めにした状態にすると、下段の位置に移動できます。
 - b スタッカーの中央 (①) を手で押さえ、スタッカーをたわませながら、スタッカーの右側を ② の溝から矢印方向に引いて取り外します。

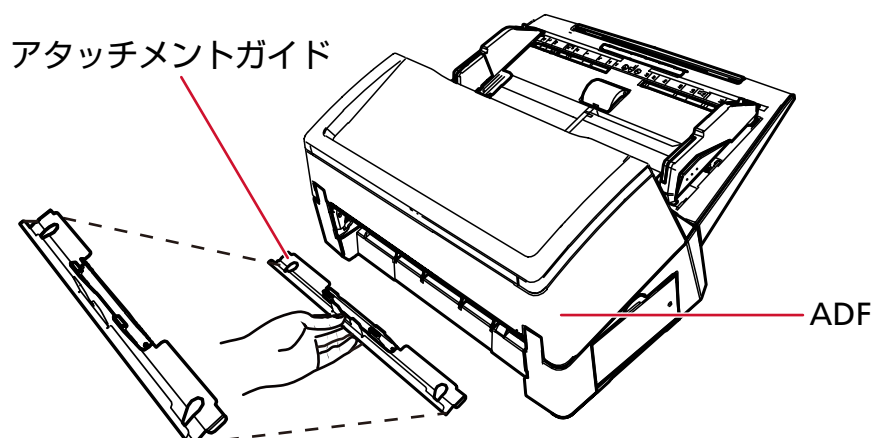


重要

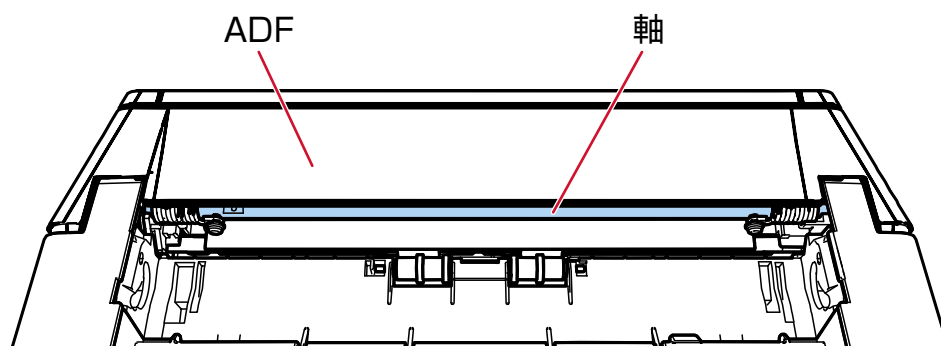
- インプリンタを取り付ける前に、必ずスタッカーを取り外してください。
- スタッカーが破損する場合がありますので、無理に引っ張らないでください。

- 3 スキャナーに、アタッチメントガイドを取り付けます。

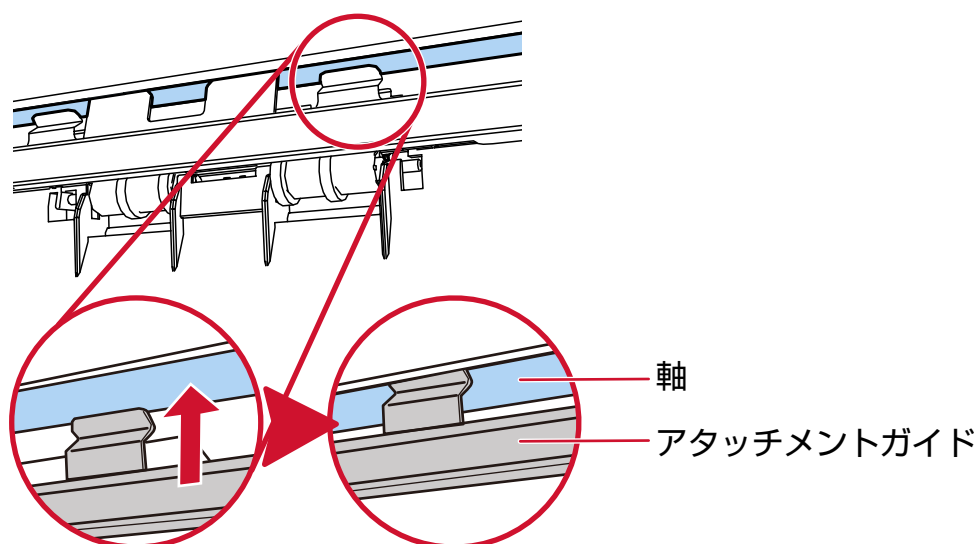
- a 図のように、アタッチメントガイドの方向を確認します。



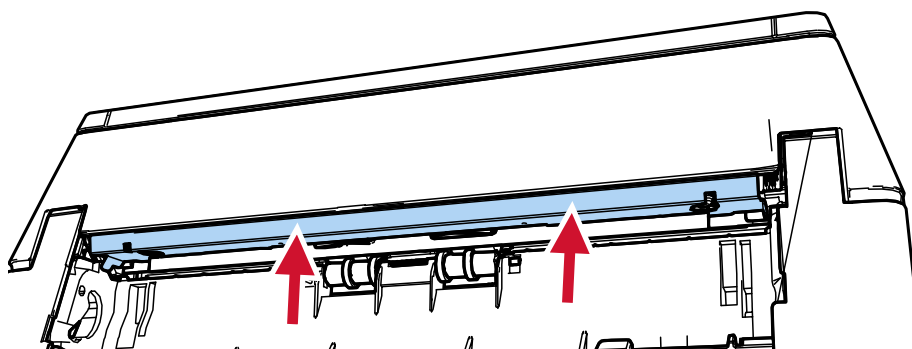
- b スキャナーを下からのぞき込んで、軸の位置を確認します。



- c アタッチメントガイドを軸に合わせます。



d アタッチメントガイドを、下から押し上げて取り付けます。

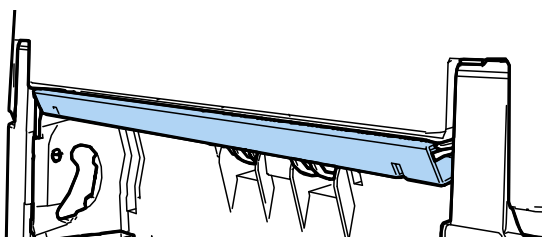


重要

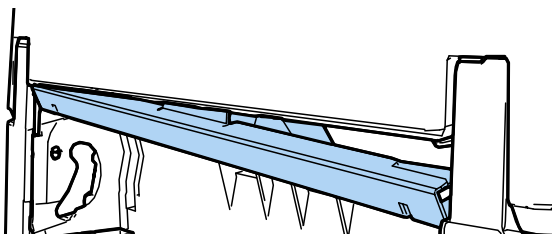
アタッチメントガイドを取り付けたあと、以下のことを確認してください。

- アタッチメントガイドが傾いていないこと
- アタッチメントガイドがスキャナー本体からはみ出していないこと

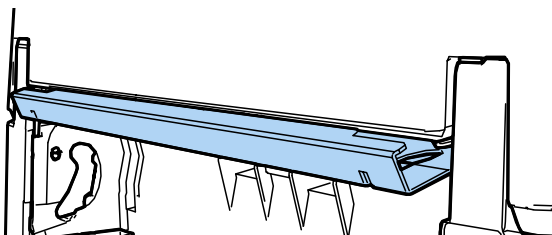
OK： 正しく取り付けられている場合



NG： 傾いている（隙間がある）場合

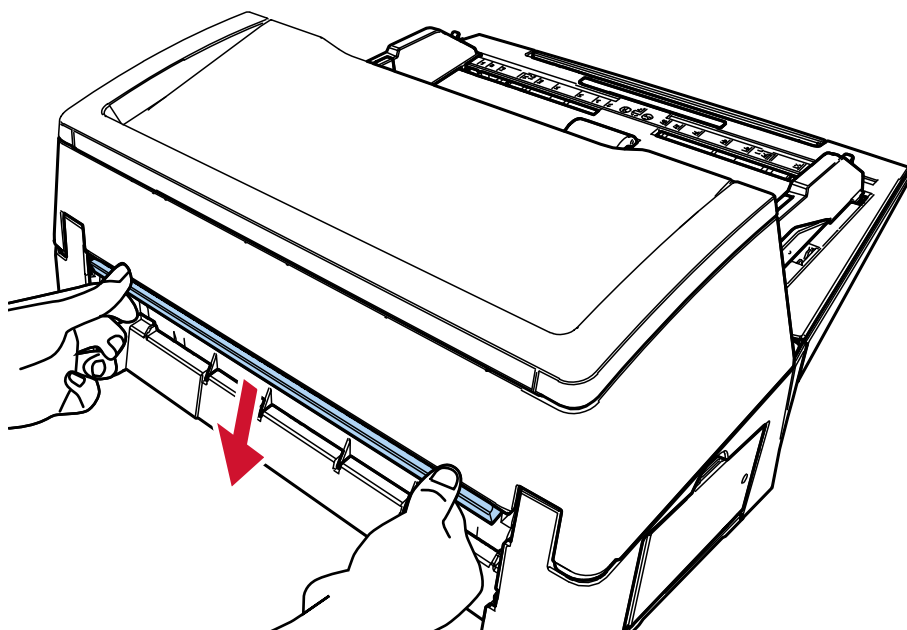


NG： スキャナー本体からはみ出している場合



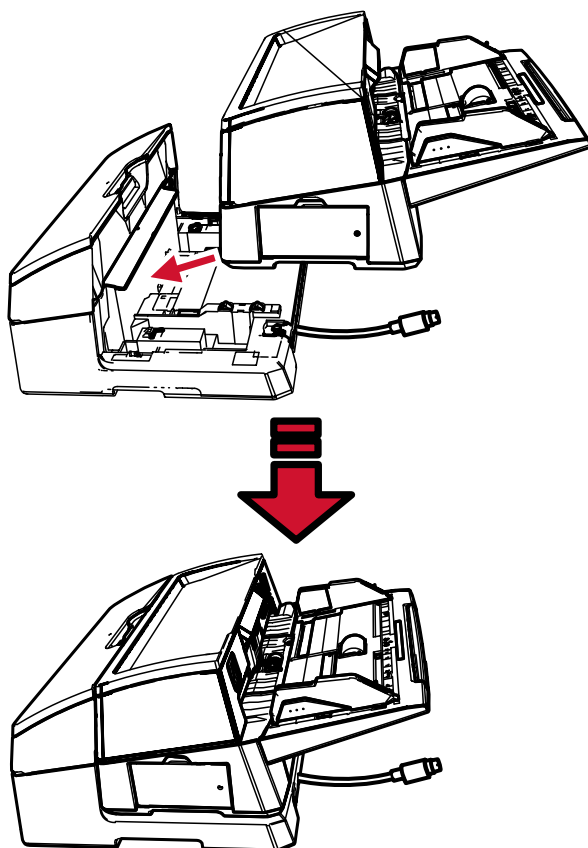
ヒント

アタッチメントガイドを取り外すときは、図のように指を押し当てて、アタッチメントガイドを下にずらして外します。



4 インプリンタをスキャナーに取り付けます。

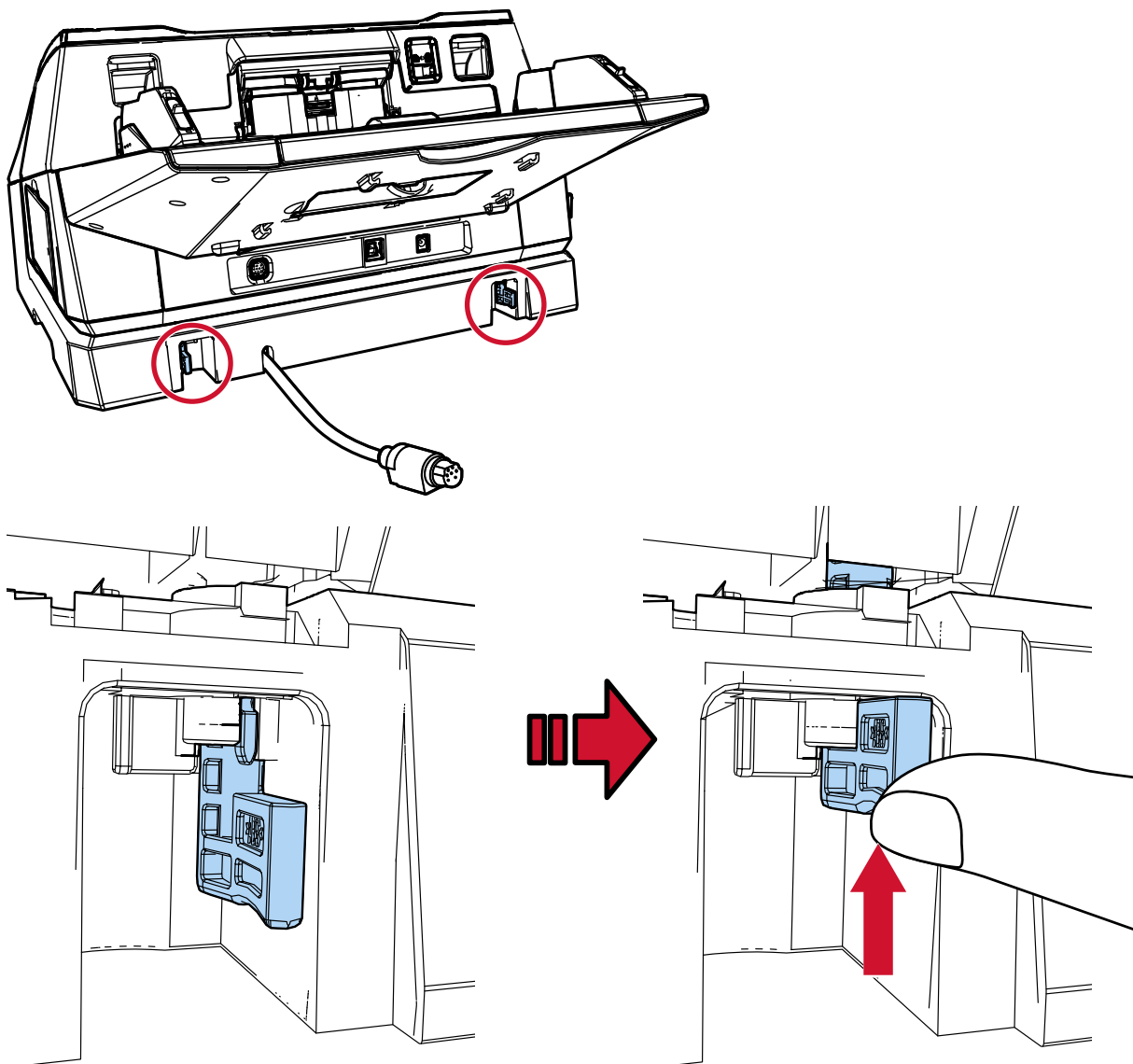
インプリンタの後方斜め上から、スキャナーをインプリンタにつきあてるようにセットします。インプリンタとスキャナーにすき間のないようにセットしてください。



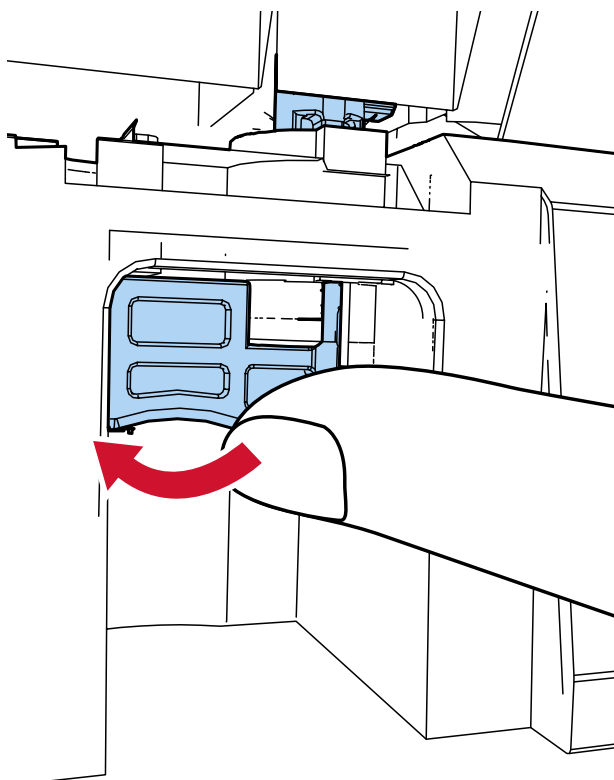
重要

指や EXT ケーブル（インプリンタケーブル）をはさまないように注意してください。

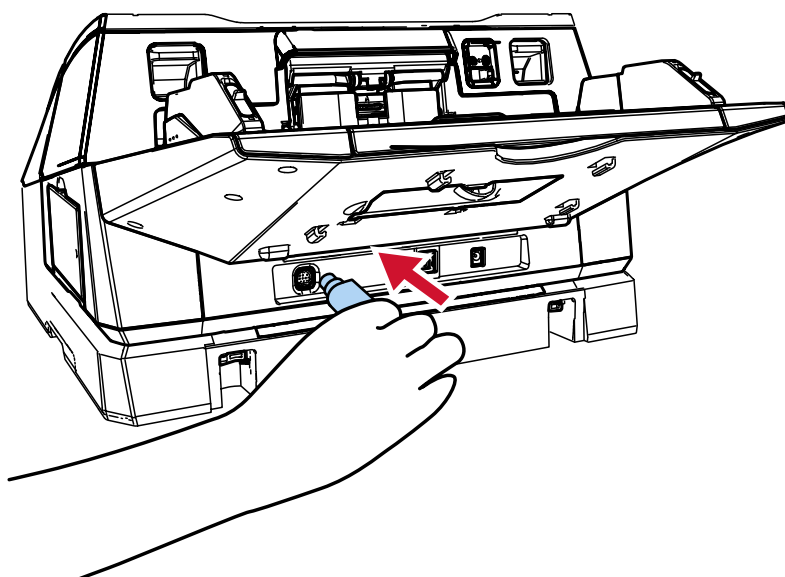
5 ロックレバーを上げます（背面 2 か所）。



6 ロックレバーを内側に倒します（背面 2 か所）。



7 EXT ケーブル（インプリンタケーブル）を、スキャナー背面の EXT コネクタに接続します。

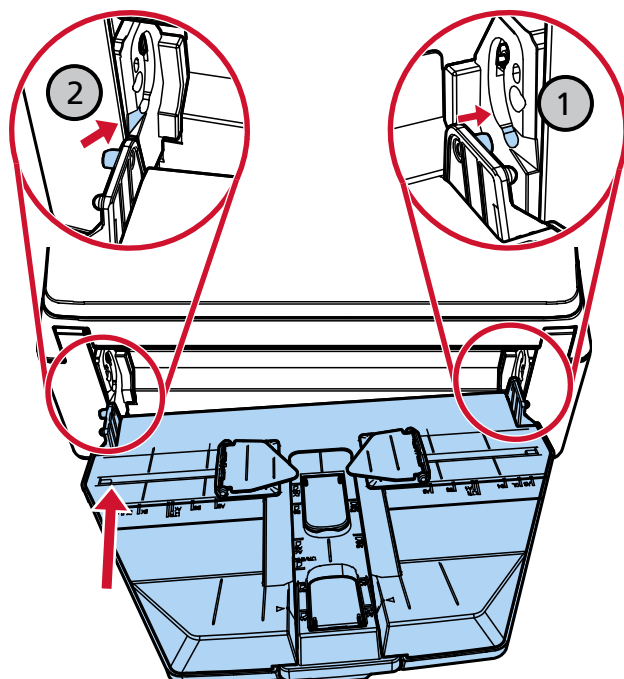


重要

EXT ケーブル（インプリンタケーブル）を接続しないとインプリンタが動作しないため、原稿を読み取ると原稿づまりが発生します。

8 インプリンタ前面に手順 2 で取り外したスタッカーを取り付けます。

- a スタッカーの右側の突起を①の溝に差し込んでから、スタッカーの左側を②の溝に合わせて矢印方向に押し込みます。



9 電源ケーブルを接続します。

重要

インプリンタをスキャナーに取り付けた状態で輸送しないでください。
インプリンタが破損するおそれがあります。

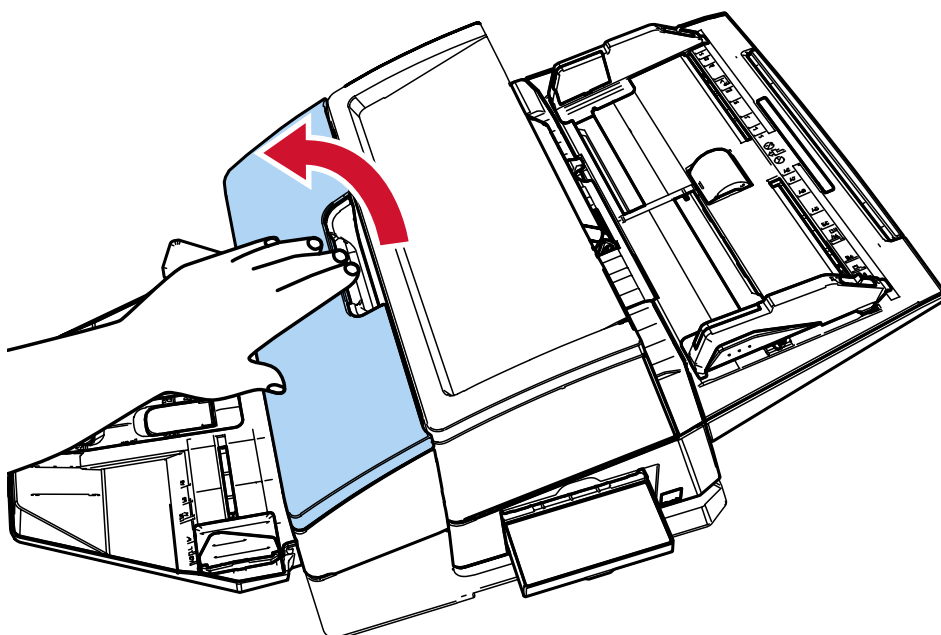
プリントカートリッジの取り付け

以下の手順でプリントカートリッジを取り付けます。

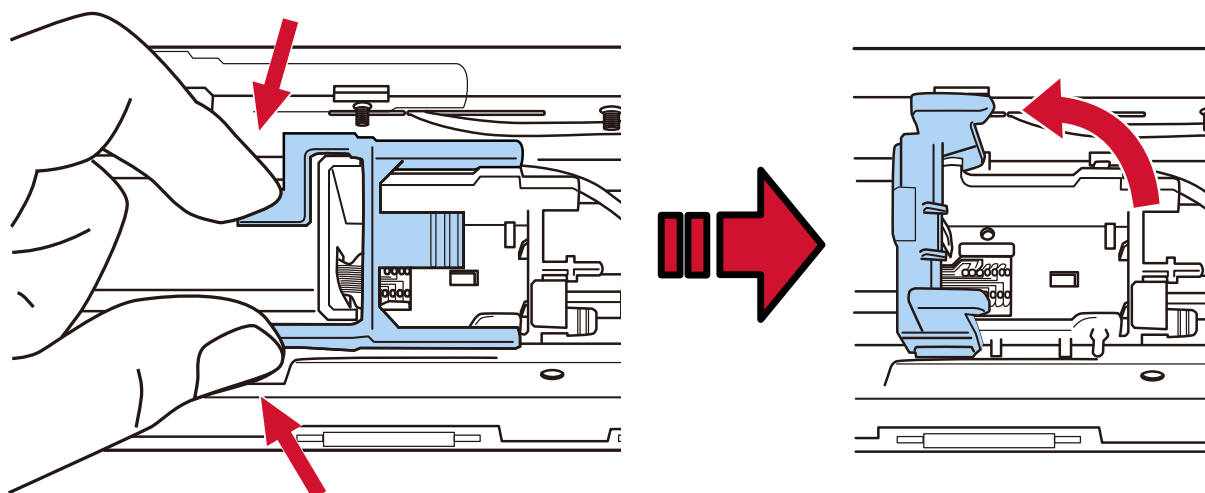
重要

プリントカートリッジを取り付けるときは、プリントカートリッジを挿入する向きに注意してください。

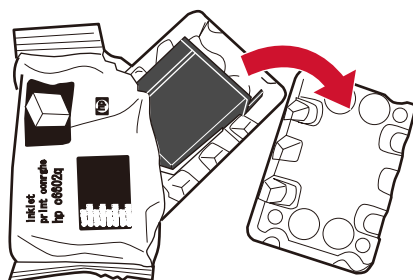
- 1 スキャナーの電源を切断します。
- 2 インクカバーを開けます。



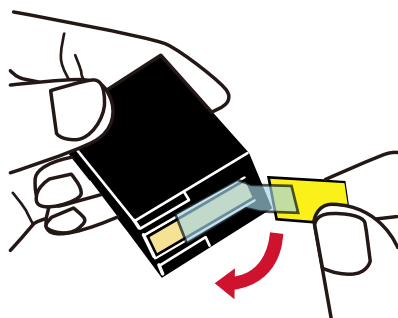
- 3 インプリンタを購入して、初めてプリントカートリッジを取り付ける場合は、プリントカートリッジホルダーと原稿づまり防止ガイドを固定しているテープをはがします。
- 4 図のように親指と人差し指でつまみながら、プリントカートリッジホルダーのレバーを起こします。



5 袋からプリントカートリッジを取り出します。

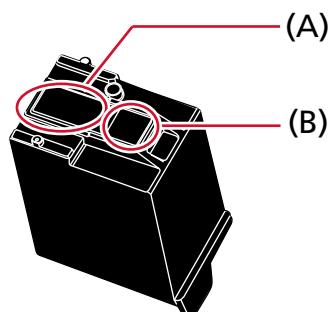


6 プリントカートリッジの保護テープをはがします。

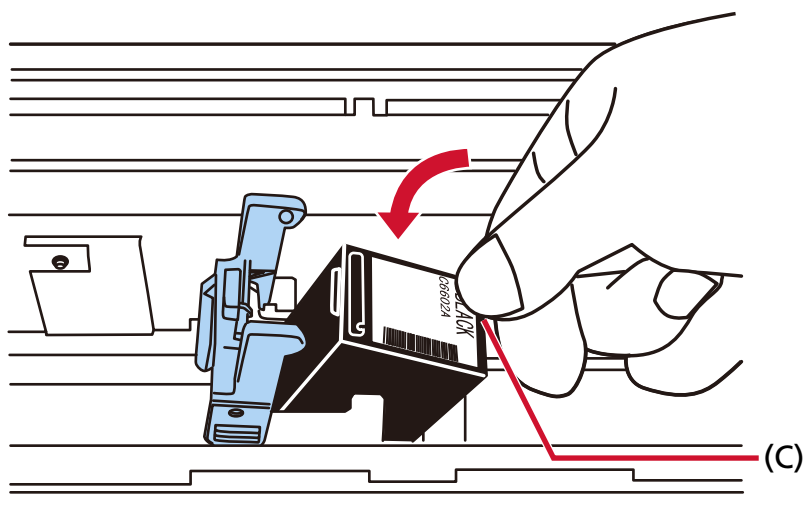


重要

- テープを貼り直さないでください。
- プリントカートリッジの印字ヘッド（接点部分（A））およびノズルプレート（B）に直接手で触れないように注意してください。印字不良の原因になります。

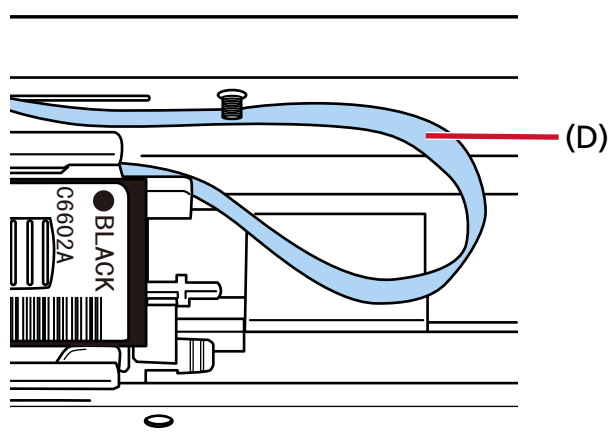


- 7 プリントカートリッジのつまみ (c) が右側になるように挿入します。



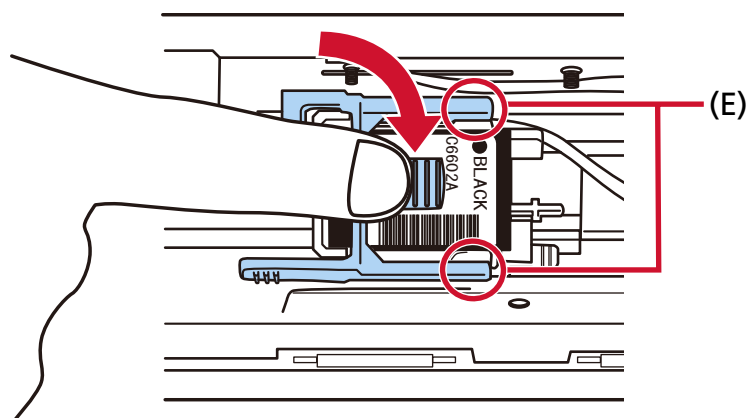
重要

プリントカートリッジを配線フィルム (D) に引っ掛けて、配線フィルムを破損しないように注意してください。



- 8 プリントカートリッジホルダーのレバーをロックがかかるまでゆっくりと倒して、プリントカートリッジを固定します。

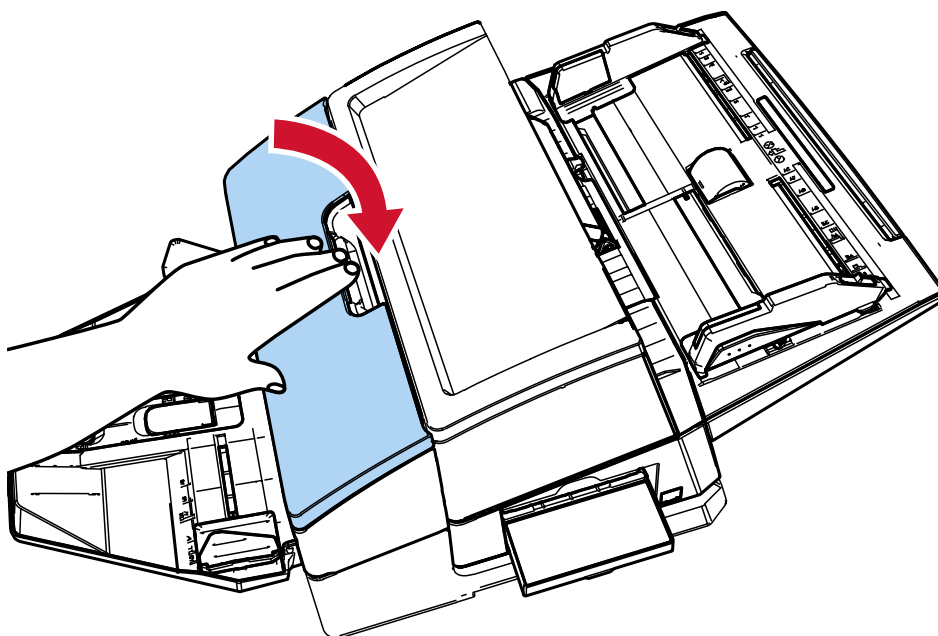
プリントカートリッジホルダーのレバーのツメ (E) がプリントカートリッジにしっかりかかっていることを確認してください。



9 プrintカートリッジホルダーを印字位置に移動します。

→ 印字位置の合わせ方 (24 ページ)

10 インクカバーを閉じます。



重要

印字しない状態が長く続くときは、プリントカートリッジを取り外すことを推奨します。
印字しなくても、スキャナーの電源を投入するときなどにインクが消費されます。

印字テスト

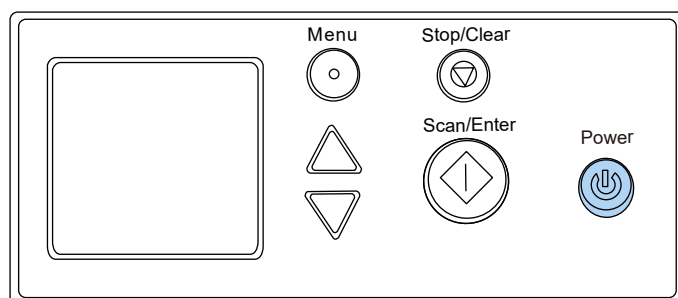
プリントカートリッジの取り付けが終了したら、印字ができることを確認してください。

ヒント

操作パネルの詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

1 スキャナーの操作パネルの【Power】ボタンを押します。

fi-8600 の場合（例）



液晶ディスプレイに「読み取り可能」画面が表示されます。

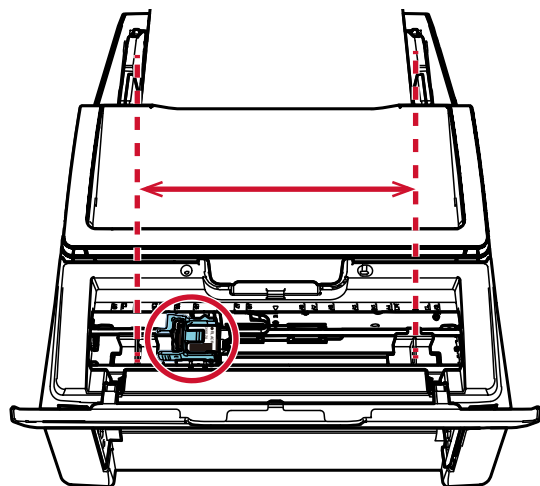
2 スキャナーに白紙をセットします。

1 枚または複数枚セットします。

A3 またはダブルレターサイズの白紙を使用してください。

長さが短い場合は、途中までしか印字されないことがあります。

3 プリントカートリッジホルダーが原稿幅の間にあることを確認します。



4 【Menu】ボタンを押します。

液晶ディスプレイに「メニュー選択」画面が表示されます。

5 【△】ボタンまたは【▽】ボタンを押して「3：印字テスト」を選択し、【Scan/Enter】ボタンを押します。

液晶ディスプレイに「読み取り枚数」画面が表示されます。

重要

インプリンタが接続されていない、または正しく接続されていない場合は、液晶ディスプレイに「インプリンタが接続されていないため、この機能は使用することができません。」と表示されます。

- 6 **【△】 ボタンまたは【▽】 ボタンを押して「1：一枚のみ」または「2：複数枚」を選択し、【Scan/Enter】 ボタンを押します。**
「2:複数枚」を選択した場合は、スキャナーにセットされているすべての白紙に印字します。
液晶ディスプレイに「印字パターン」画面が表示されます。
- 7 **【△】 ボタンまたは【▽】 ボタンを押して印字パターンを選択し、【Scan/Enter】 ボタンを押します。**
印字パターンについては、[印字パターンと印字結果 \(22 ページ\)](#)を参照してください。
液晶ディスプレイに「印字テスト」画面が表示されます。
- 8 **【△】 ボタンまたは【▽】 ボタンを押して「1：はい」を選択し、【Scan/Enter】 ボタンを押します。**
白紙が搬送され、先端 5mm から印字パターンが印字されます（誤差±4mm）。

重要

印字中にインプリンタを動かしたり、衝撃を与えたりしないでください。
印字不良の原因になります。

- 9 印字テストを終了する場合は、スキャナーの操作パネルの【Power】 ボタンを押してスキャナーの電源を切断します。

印字パターンと印字結果

● 印字パターン

パターン 1（横書き）：

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_00000000

パターン 2（横書き）：

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{}`00000000

パターン 3（横書き）：

!"#\$%&'()*+,-./0123456789;<=>?@00000000

パターン 4（縦書き）：

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_00000000

パターン 5（縦書き）：

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{}`00000000

パターン 6（縦書き）：

! " # \$ % & ' () * + , - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : ; < = > ? @ 0 0 0 0 0 0 0 0

ヒント

「00000000」の部分は、0 から始まり、1 刻みでカウントされます。

例

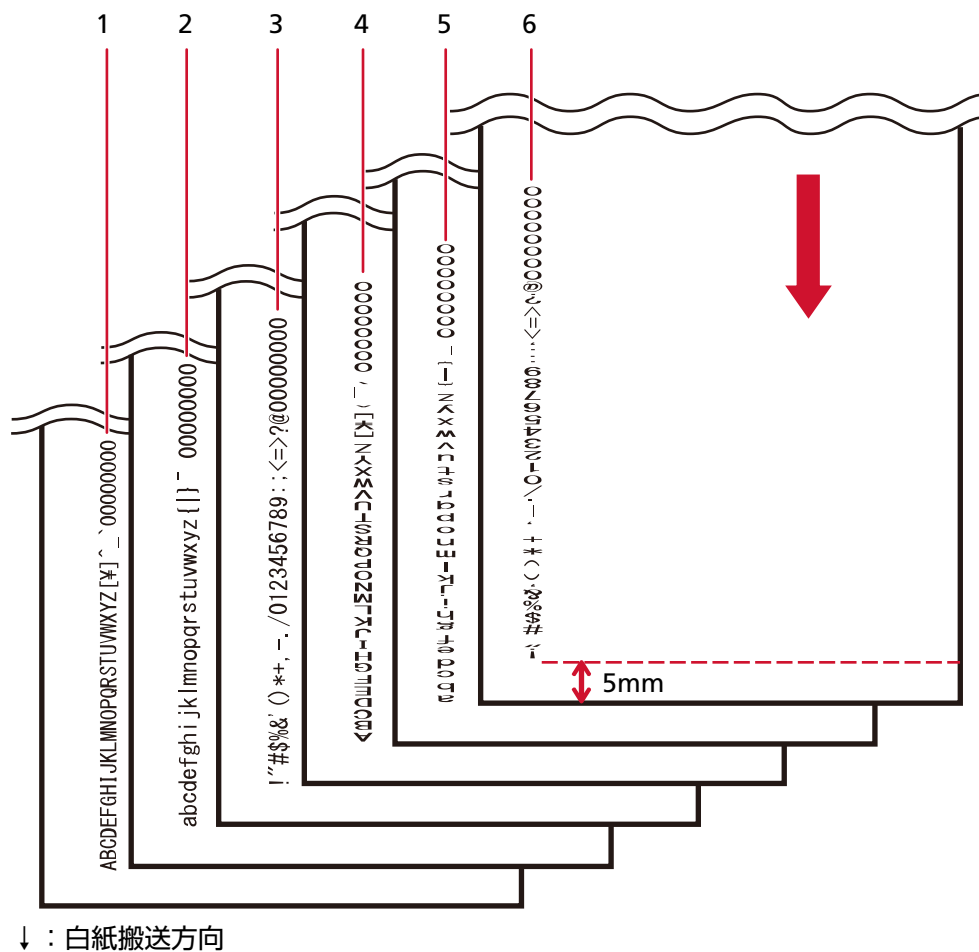
「2:複数枚」を選択して、パターン1を選択した場合に、白紙を3枚セットして印字テストを実行すると、以下のような印字結果になります。

1 枚目： ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[^{半角}] ^ _ 00000000

2 枚目： ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[[≡]]^_`00000001

3 枚目： ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[^W]^_`00000002

● 印字パターンの印字結果

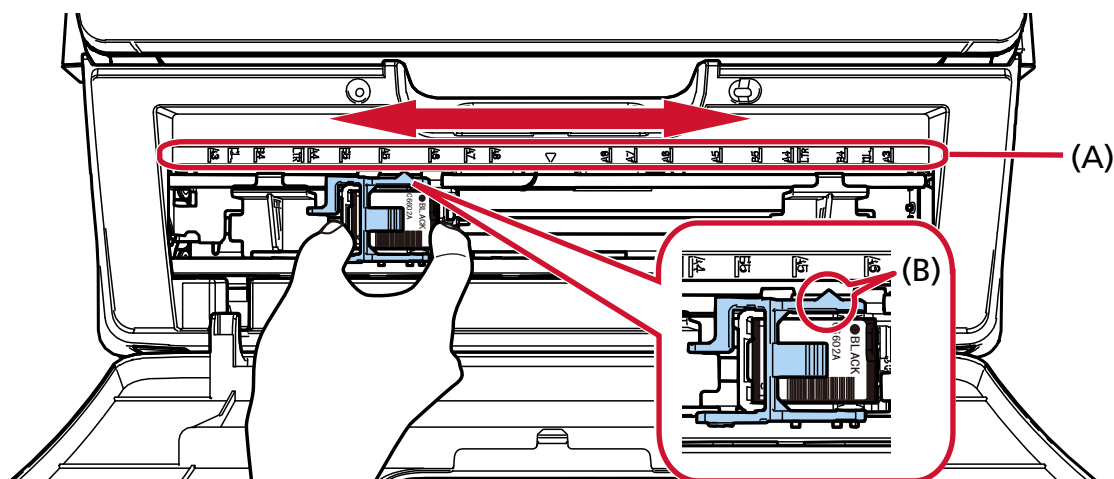


基本的な操作方法

印字位置の合わせ方

以下の手順で印字位置を合わせます。

- 1 インクカバーを開けます。
 - 2 プリントカートリッジホルダーを印字位置に移動します。
 - a プリントカートリッジホルダーを、原稿幅の範囲内でスライドします。
 - b インプリンタの内部に刻印されている原稿サイズの見盛り (A) を目安に、プリントカートリッジホルダーの図の部分(B)を印字したい位置に合わせます。
- 印字したい位置に原稿づまり防止ガイドがある場合は、**A6 縦サイズよりも幅が広い原稿の端に印字する場合 (27 ページ)**を参照して、原稿づまり防止ガイドの位置を変更してください。

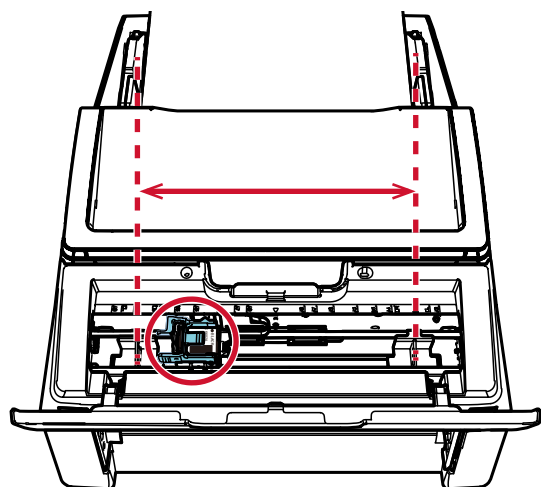


重要

原稿の端ぎりぎりに印字するときは、原稿の端からはみ出して印字される場合があるので、プリントカートリッジホルダーの位置に注意してください。

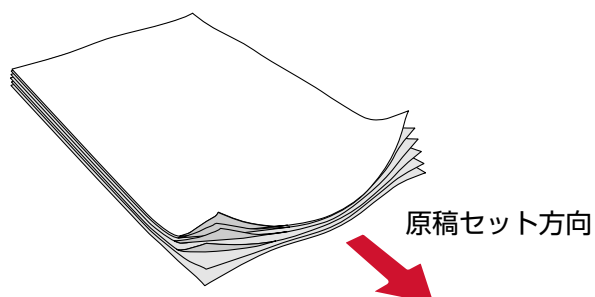
ヒント

実際に読み取る原稿をスキャナーにセットして、プリントカートリッジホルダーが原稿幅の間にあることを確認してください。



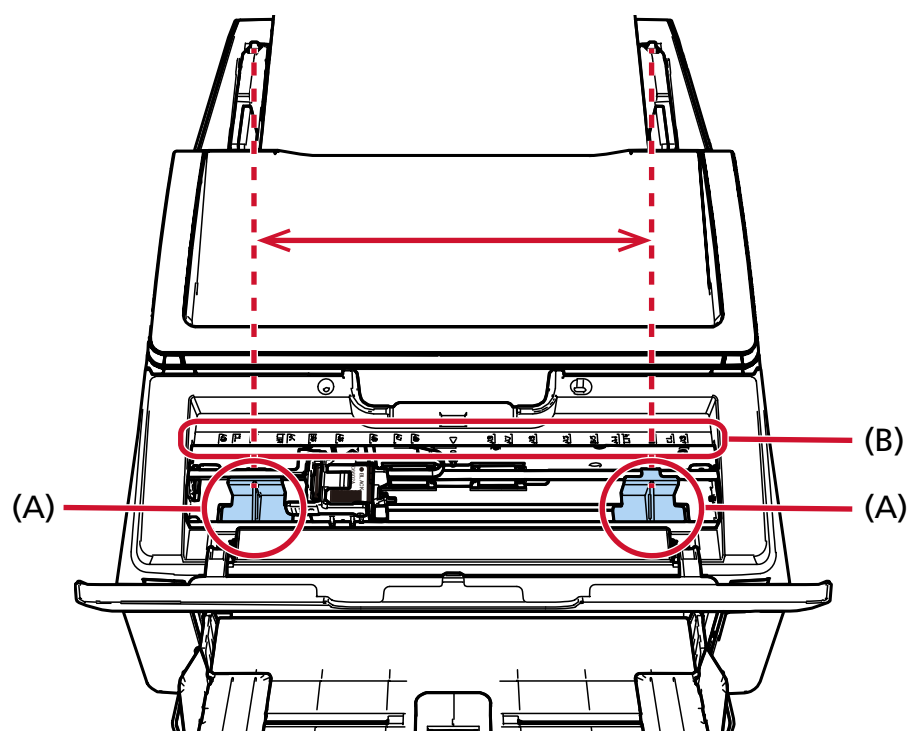
原稿づまり防止ガイドの使い方

図のように先端がカールした原稿を使用する場合は、原稿づまりを防止するために、「原稿づまり防止ガイド」を使用してください。



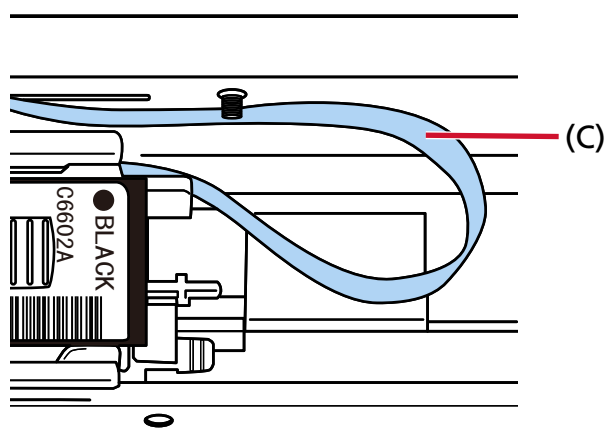
以下の手順で、原稿の端が通過する部分に原稿づまり防止ガイドを配置します。

- 1 原稿をスキャナーにセットします。
- 2 インクカバーを開けます。
- 3 原稿づまり防止ガイド (A) を、原稿の左右両端が通過する位置にスライドして配置します。
配置位置は、インプリンタの内部に刻印されている原稿サイズの見盛り (B) を目安にしてください。
例：A4 サイズの原稿の場合



重要

原稿づまり防止ガイドを配線フィルム (C) に引っ掛けて、配線フィルムを破損しないように注意してください。

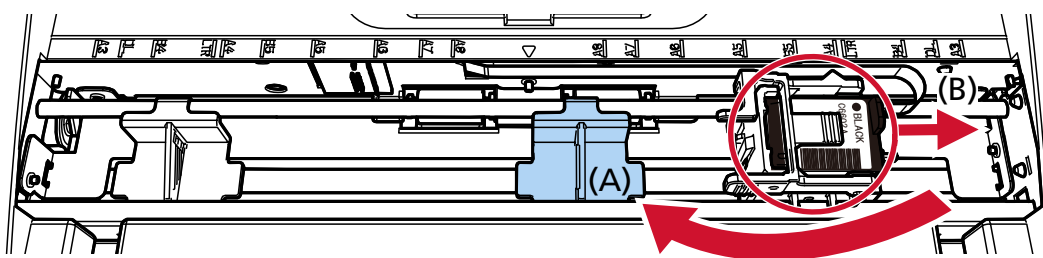


A6 縦サイズよりも幅が広い原稿の端に印字する場合

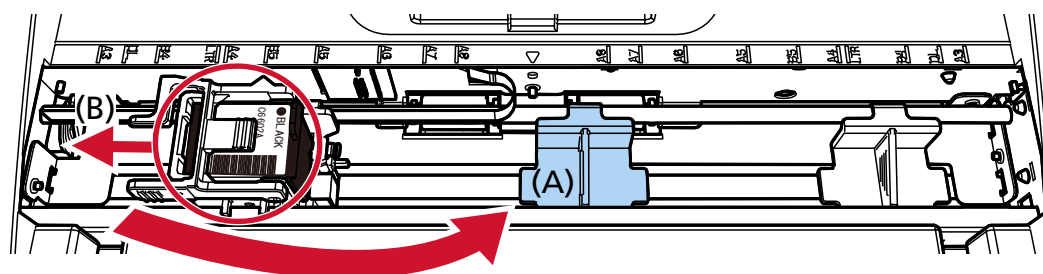
A6 縦サイズよりも幅が広い原稿の端に印字したいときは、原稿づまり防止ガイドの配置を変更します。

- 1 印字したい位置にある原稿づまり防止ガイドを取り外します。
→ [原稿づまり防止ガイドの取り外し方 \(29 ページ\)](#)
- 2 原稿づまり防止ガイドを中央の空きスペース (A) に取り付けて、プリントカートリッジホルダーを端 (B) に移動します。
→ [原稿づまり防止ガイドの取り付け方 \(29 ページ\)](#)

右端に印字する場合



左端に印字する場合



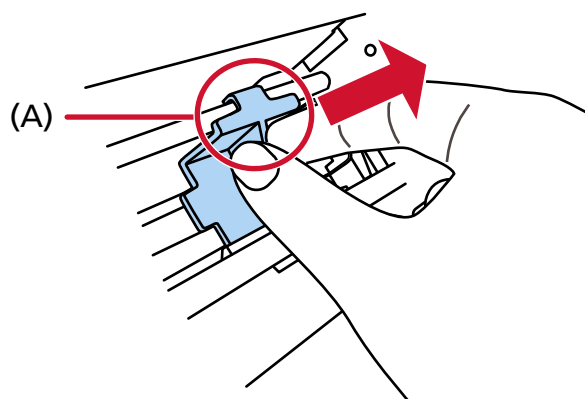
3 プリントカートリッジホルダーの位置を調整します。

→ [印字位置の合わせ方 \(24 ページ\)](#)

原稿づまり防止ガイドの取り外し方

- 1 原稿づまり防止ガイドを指でつまみ、上に引っ張って取り外します。

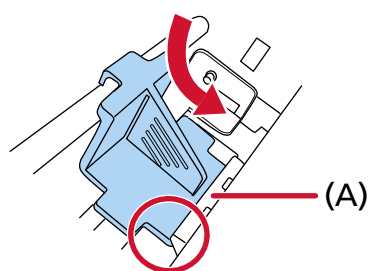
取り外しにくい場合は、図の (A) の部分にあるツメが外れるように回転させながら上に引っ張ってください。



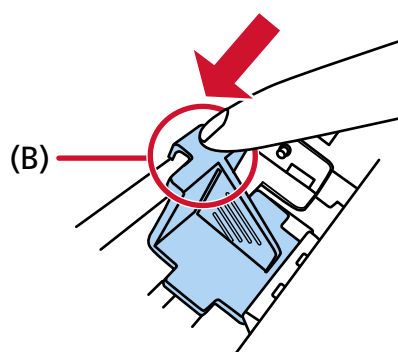
原稿づまり防止ガイドの取り付け方

- 1 原稿づまり防止ガイドを乗せます。

原稿づまり防止ガイドは、金属ローラー (A) の下に入れてください。



- 2 図の(B)の部分を押してはめ込みます。

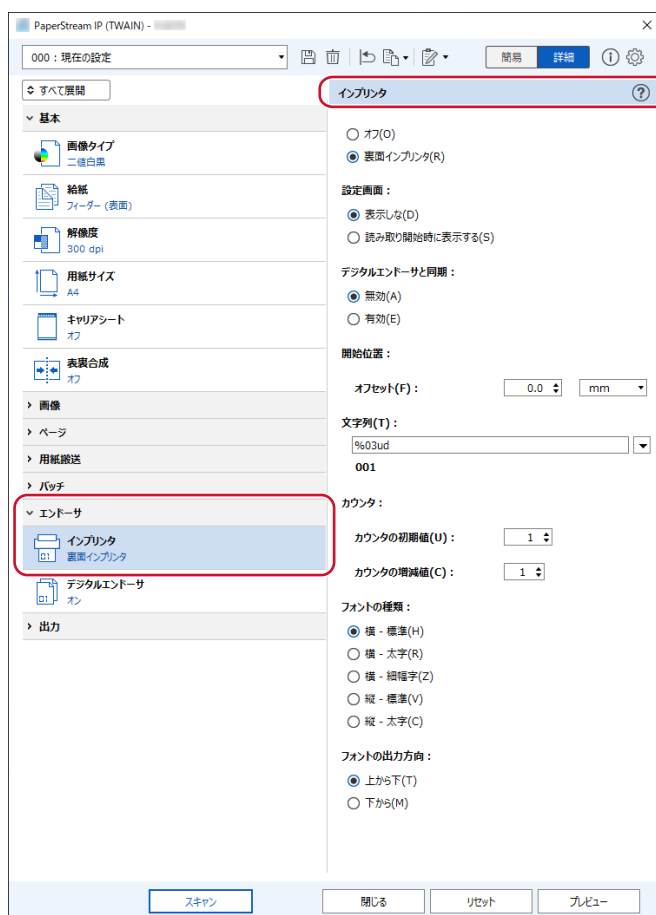


印字設定

インプリンタの印字設定は、スキャナードライバーで設定します。
設定方法の詳細は、使用しているスキャナードライバーのヘルプを参照してください。

● PaperStream IP (TWAIN) の場合 (例)

詳細ダイアログを表示し、「エンドーサ」の「インプリンタ」で設定します。

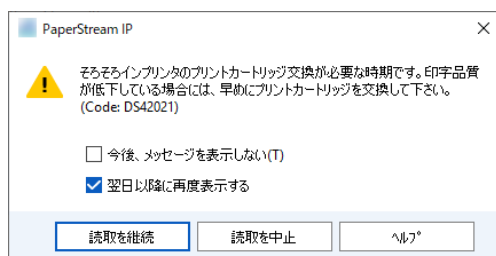


プリントカートリッジの交換

プリントカートリッジは消耗品です。
以下の手順でプリントカートリッジを交換します。

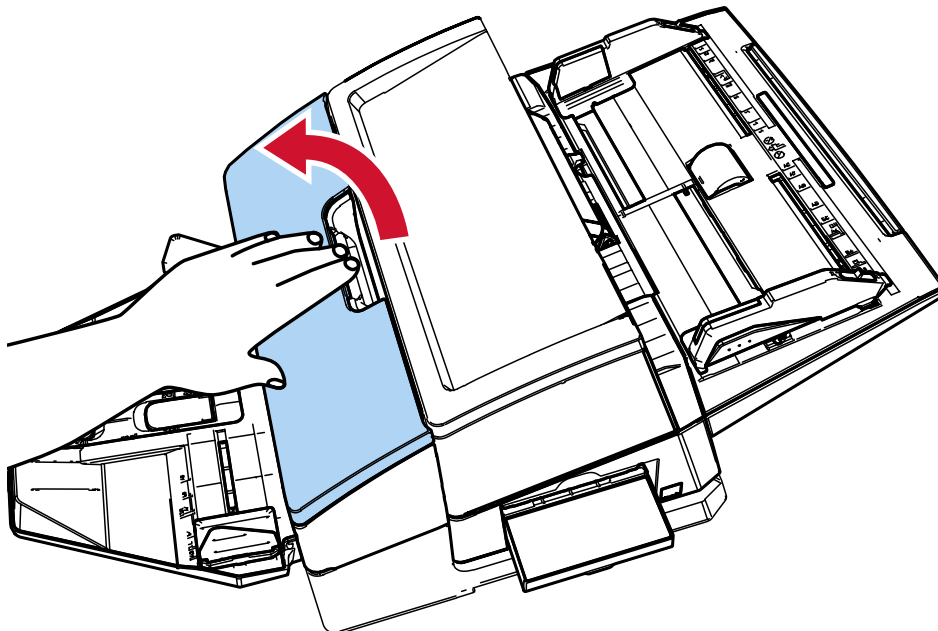
重要

以下のメッセージが表示されたら、すみやかにプリントカートリッジを交換してください。
そのまま使い続けると、かすれた文字が印字される場合があります。

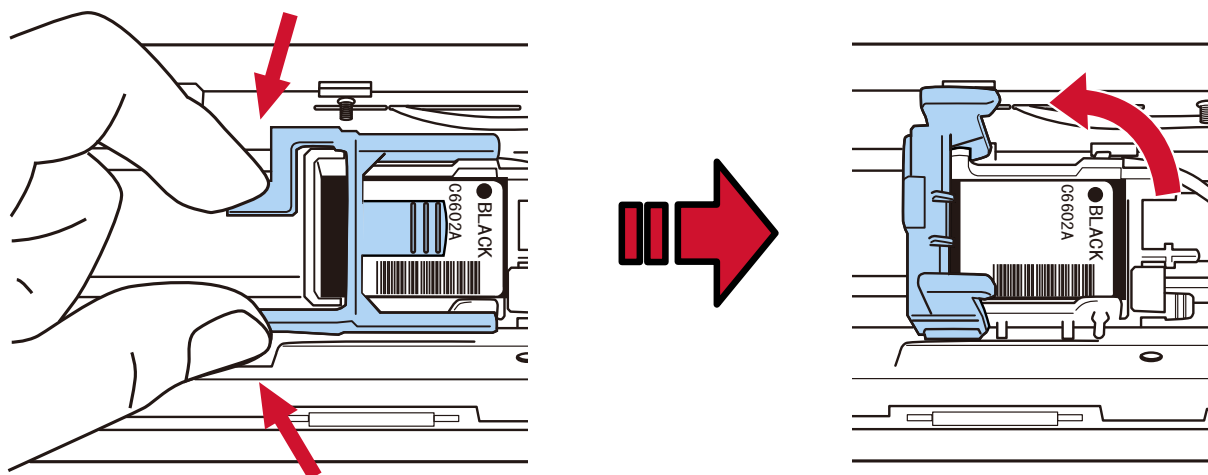


プリントカートリッジの購入方法は、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU PFU ダイレクト (53 ページ)にお問い合わせください。

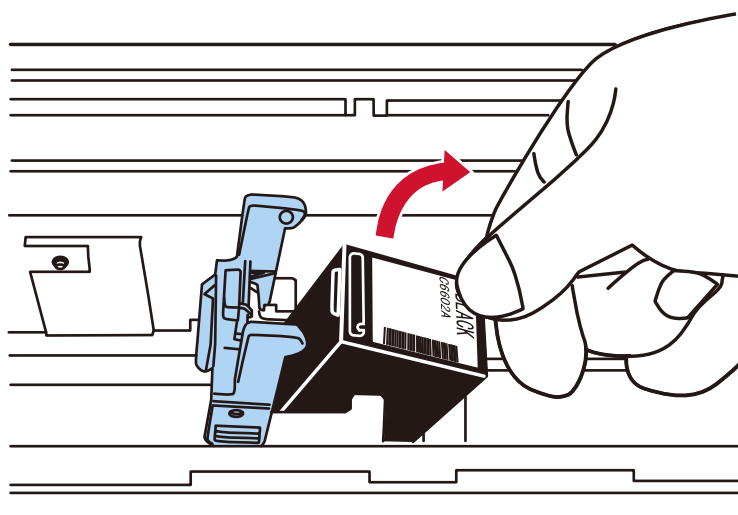
- 1 スキャナーの電源を切断します。
- 2 インクカバーを開けます。



- 3 図のように、親指と人差し指でつまみながら、プリントカートリッジホルダーのレバーを起こします。



- 4 古いプリントカートリッジのつまみを指でつまんで取り外します。



- 5 新しいプリントカートリッジを取り付けます。

→ プリントカートリッジの取り付け (17 ページ)の手順 5～10 を参照

重要

プリントカートリッジを取り付けるときは、プリントカートリッジを挿入する向きに注意してください。

- 6 スキャナーとコンピューターが接続されていることを確認し、スキャナーの電源を投入します。
スキャナーとコンピューターの接続方法については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
- 7 以下の手順で、インク残量カウンターをクリアします。

重要

プリントカートリッジを交換したあとは、必ずインク残量カウンターをクリアしてください。

インク残量カウンターをクリアするには、Software Operation Panel を使用します。
Software Operation Panel については、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

a 「Software Operation Panel」 画面を表示します。

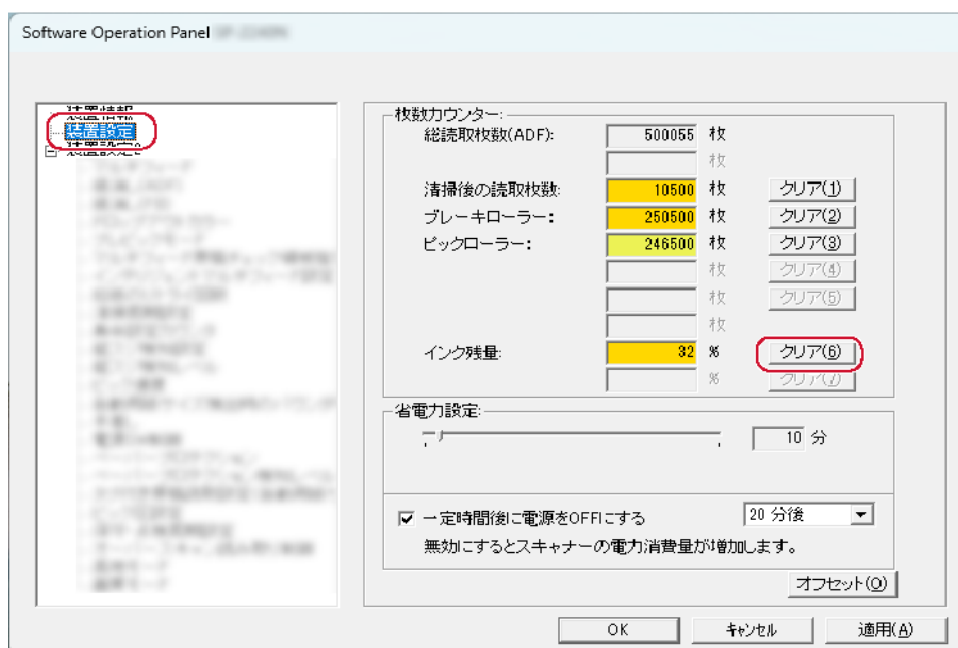
Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022

「スタート」メニュー→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。

Windows 11/Windows Server 2025

「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。

b 画面のリストから「装置設定」をクリックし、「インク残量：」の【クリア】ボタンをクリックします。



カウンター値が「100」になります。

c 【OK】 ボタンをクリックします。

d Software Operation Panel の設定を更新するかどうかの確認メッセージが表示されるので、【OK】 ボタンをクリックします。

「Software Operation Panel」画面が終了し、インク残量カウンターがクリアされます。

重要

印字しない状態が長く続くときは、プリントカートリッジを取り外すことを推奨します。

印字しなくても、スキャナーの電源を投入するときなどにインクが消費されます。

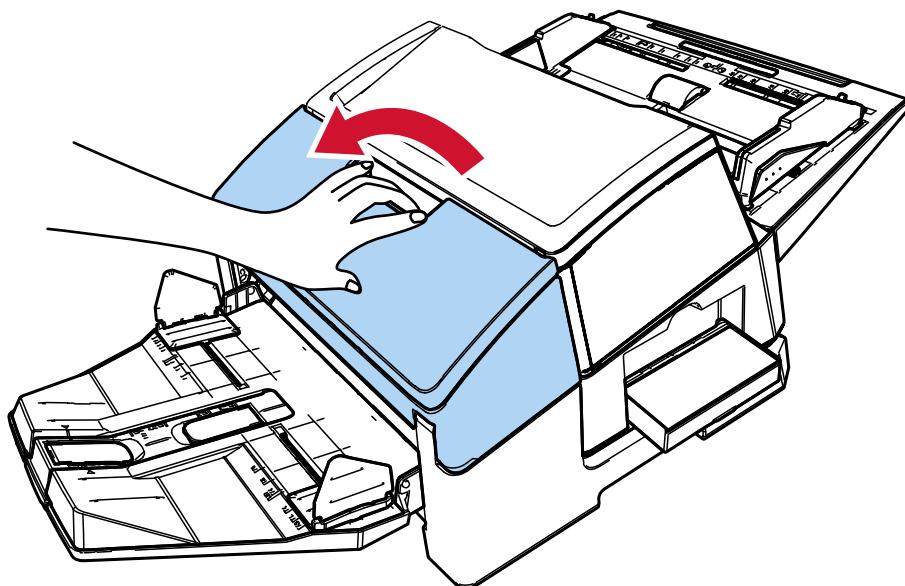
原稿ぶまりの解除方法

原稿ぶまりが発生した場合、以下の手順でつまった原稿を取り除いてください。

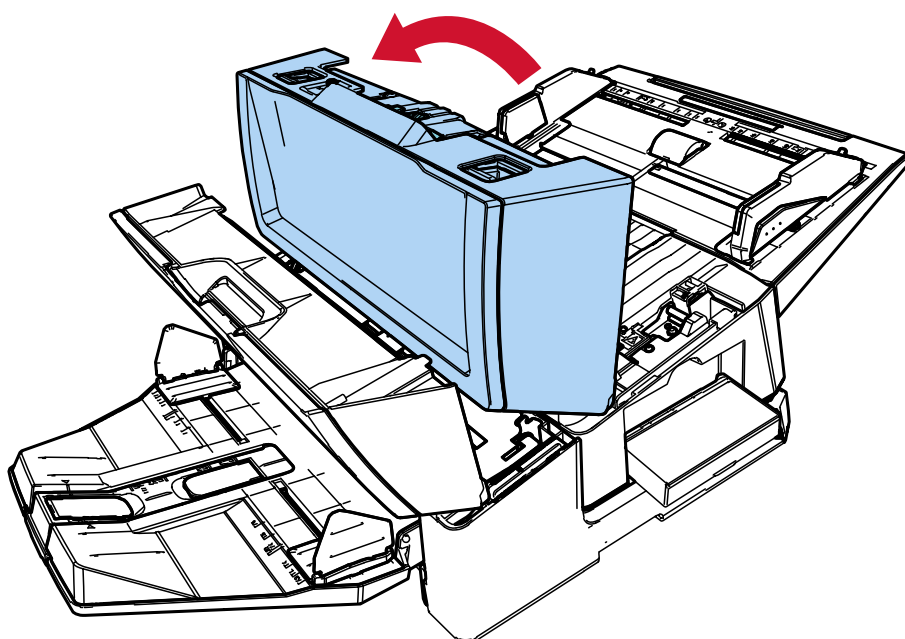
重要

つまった原稿は無理に引き抜かず、印字部（インプリンタカバー）、ADF の順に開けてから取り除いてください。

- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。
- 2 印字部（インプリンタカバー）を開けます。

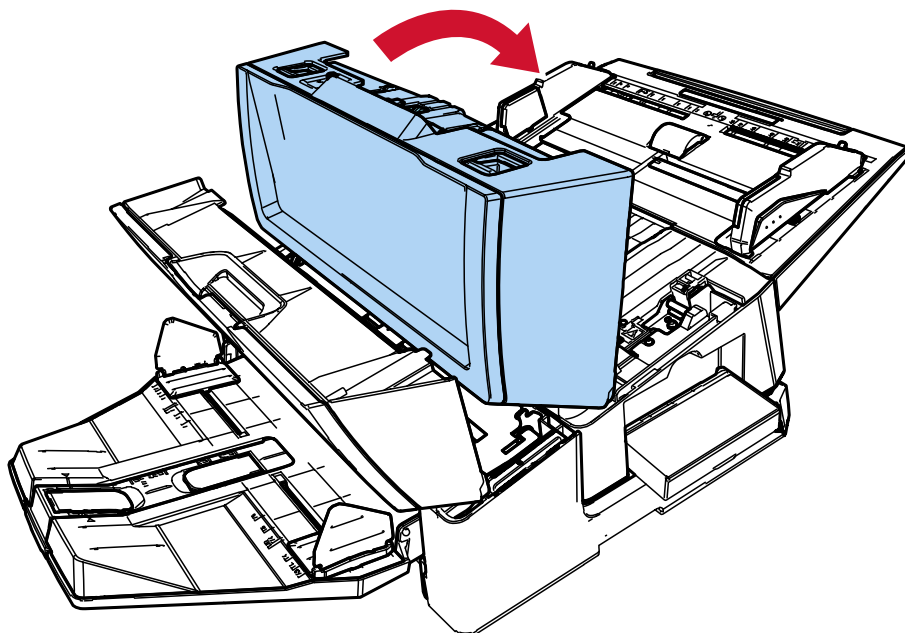


- 3 ADF を開けます。

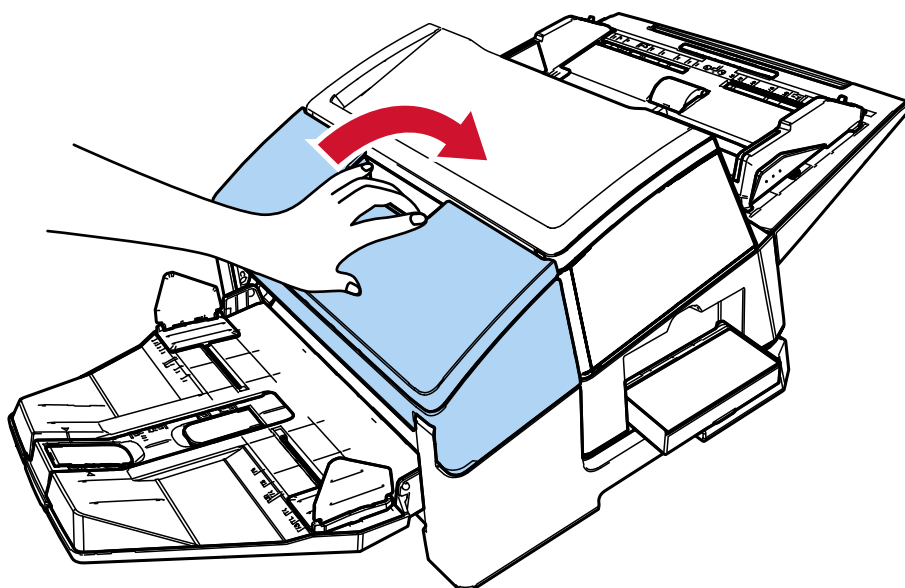


4 つまっている原稿を取り除きます。

5 ADF を閉じます。



6 ADF が閉じていることを確認してから、印字部（インプリンタカバー）を閉じます。



重要

指をはさまないように注意してください。

日常のお手入れ

プリントカートリッジの清掃

プリントカートリッジは、ノズルプレートにインクのおごれが付着する場合があります。
また、印字しない状態が長く続くときは、目づまりを起こして、きれいに印字されない場合があります。
このような状態になった場合、プリントカートリッジのノズルプレートを清掃してください。

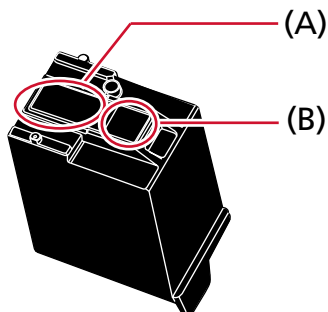
重要

清掃には、ほこりの出にくい、乾いた布またはウェス（ティッシュペーパーは不向きです）を使用し、ノズルプレートのおごれをやさしくふき取ってください。

ヒント

プリントカートリッジを清掃しても目づまりが解消できない場合は、新しいプリントカートリッジに交換してください。

- 1 スキャナーの電源を切断します。
- 2 プリントカートリッジを取り外します。
→ [プリントカートリッジの交換 \(31 ページ\)](#)の手順 2～4 を参照
- 3 ノズルプレート (B) のおごれをやさしくふき取ります。



重要

プリントカートリッジの印字ヘッド（接点部分 (A)）およびノズルプレート (B) に直接手で触れないように注意してください。印字不良の原因になります。

- 4 よごれがふき取られたことを確認し、プリントカートリッジを取り付けます。
→ [プリントカートリッジの取り付け \(17 ページ\)](#)の手順 7～10 を参照

重要

プリントカートリッジを取り付けるときは、プリントカートリッジを挿入する向きに注意してください。

インプリンタの清掃

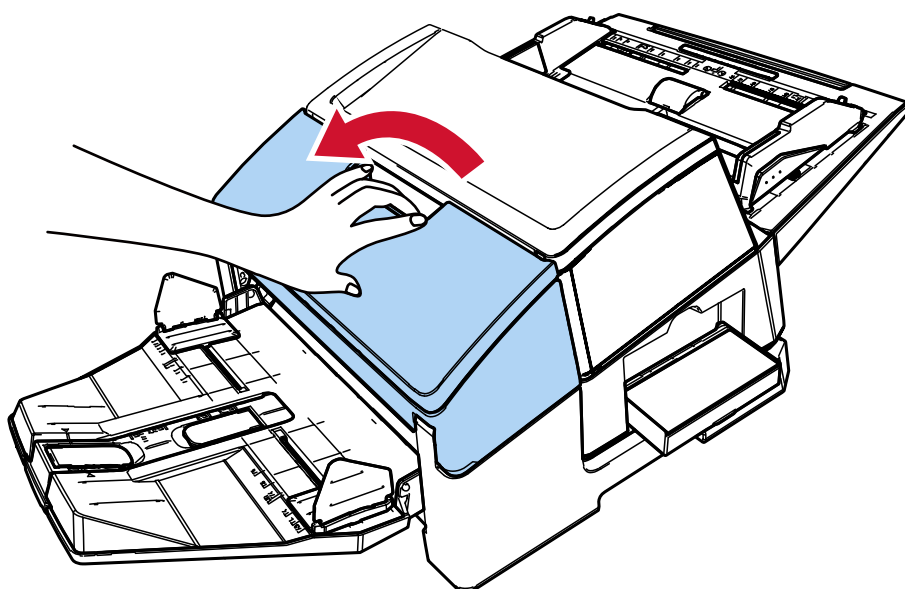
印字処理が多くなると、プリントカートリッジホルダーの底面にインクのごく少量が付着し、原稿がよごれる場合があります。

日常のお手入れとして、以下の手順でプリントカートリッジホルダーの底面を清掃してください。

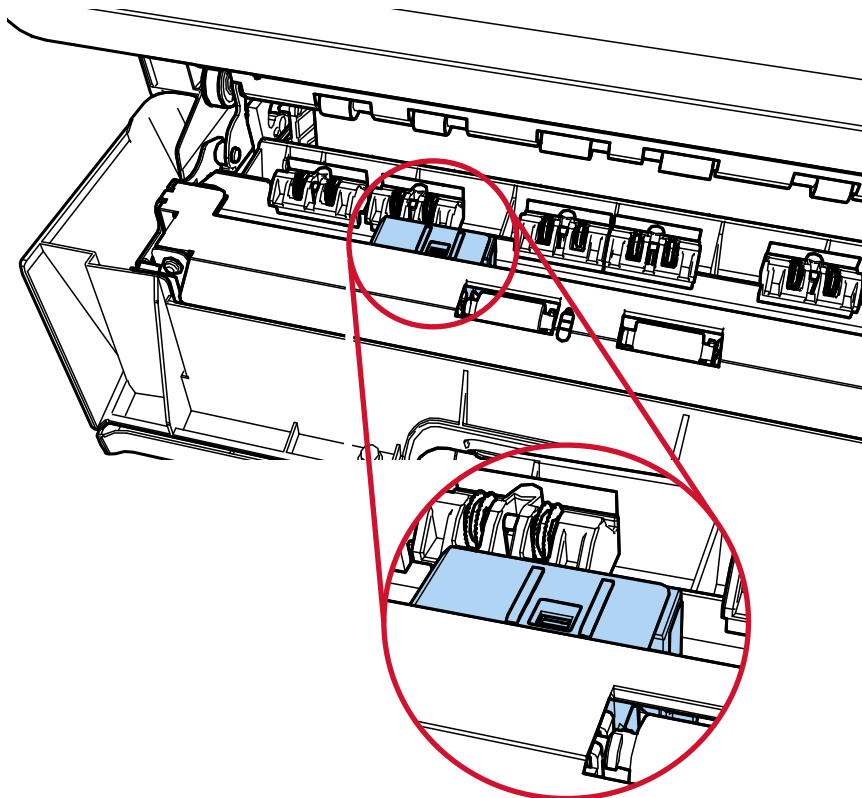
重要

清掃には、吸収性のよい布またはウェスを使用し、底面のごく少量をやさしくふき取ってください。インクが固まってしまった場合は、湿らせた布でやさしくふき取ってください。インクは水性なので、水でふき取れます。

- 1 スキャナーの電源を切断します。
- 2 プリントカートリッジを取り外します。
→ [プリントカートリッジの交換 \(31 ページ\)](#) の手順 2～4 を参照
- 3 印字部（インプリンタカバー）を開けます。

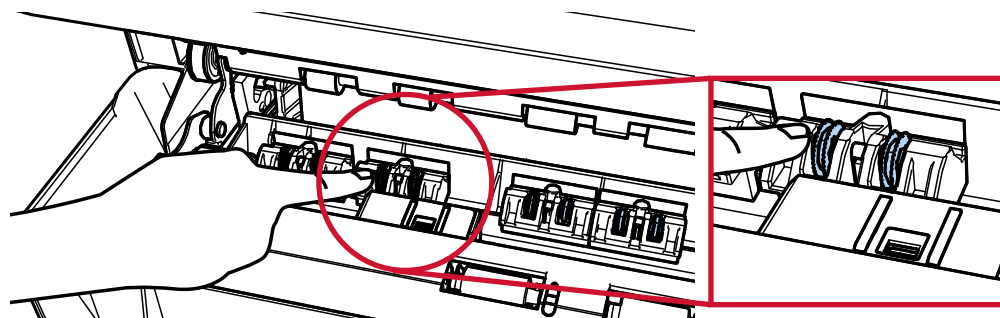


- 4 プリントカートリッジホルダーの底面に、布またはウェスを軽く押し当ててよごれをふき取ります。

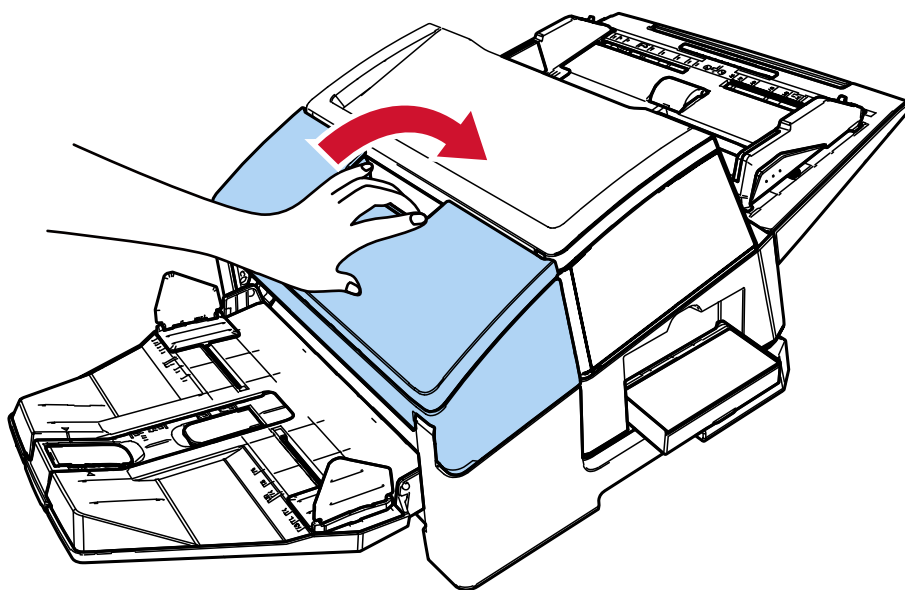


重要

清掃のときに、印字部（インプリンタカバー）側に付いている金属ローラーに触れないように注意してください。



5 よごれがふき取られたことを確認し、印字部（インプリンタカバー）を閉じます。



6 プリントカートリッジを取り付けます。

→ [プリントカートリッジの取り付け \(17 ページ\)](#)の手順 7～10 を参照

ローラーの清掃

搬送部のローラー表面にインクや紙粉などのよごれが付着した場合、原稿が正しく搬送されなくなることがあります。

このような状態にならないように、定期的にローラー表面を清掃してください。

重要

クリーナ F1 を大量に使用すると、なかなか乾かない場合があります。

少量を布にしみこませて使用してください。

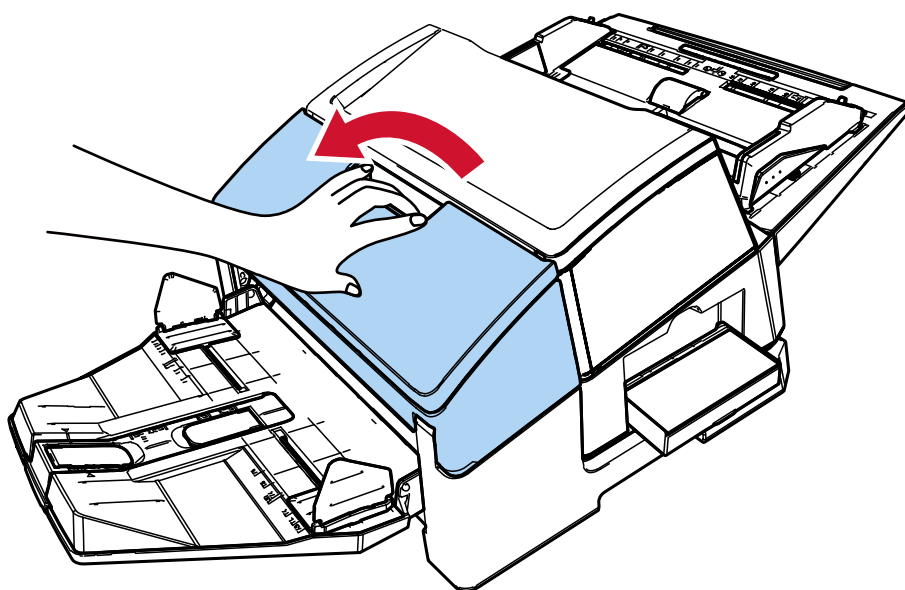
また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

ヒント

目安として、5,000 枚読み取るごとに清掃してください。

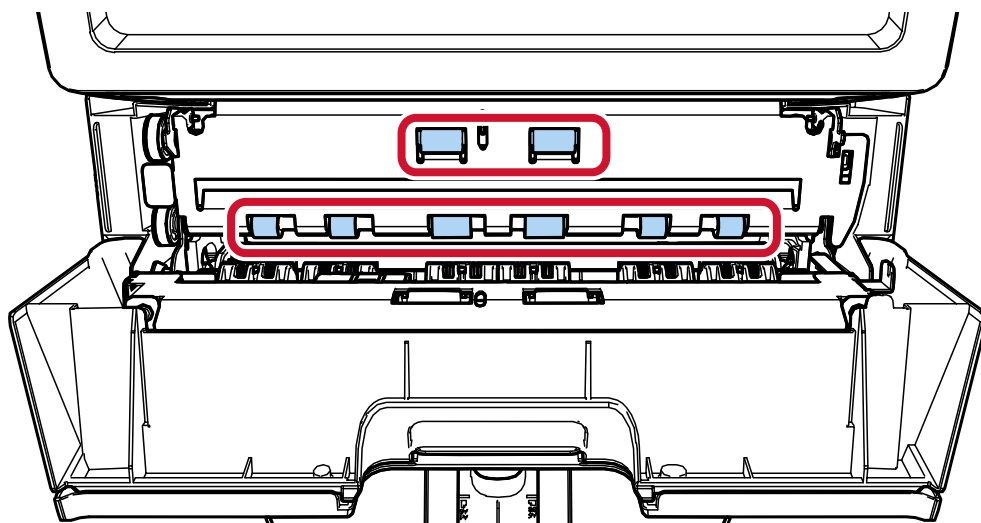
実際の清掃周期は、使用頻度や原稿によって短くなる場合があります。

1 印字部（インプリンタカバー）を開けます。



2 ゴムローラーを清掃します。

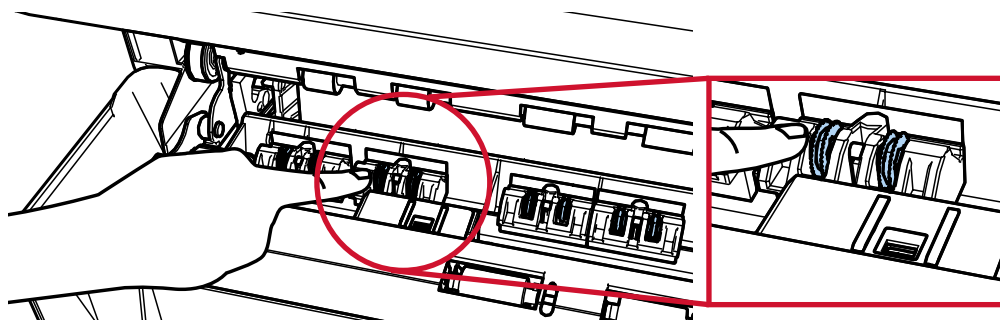
搬送部の下にある 8 か所のゴムローラーを清掃してください。



ローラー表面に、少量のクリーナ F1 をしみこませた布を軽く押し当ててよごれをふき取ります。
ゴムローラーを指で回転させて、ローラー全体を清掃してください。

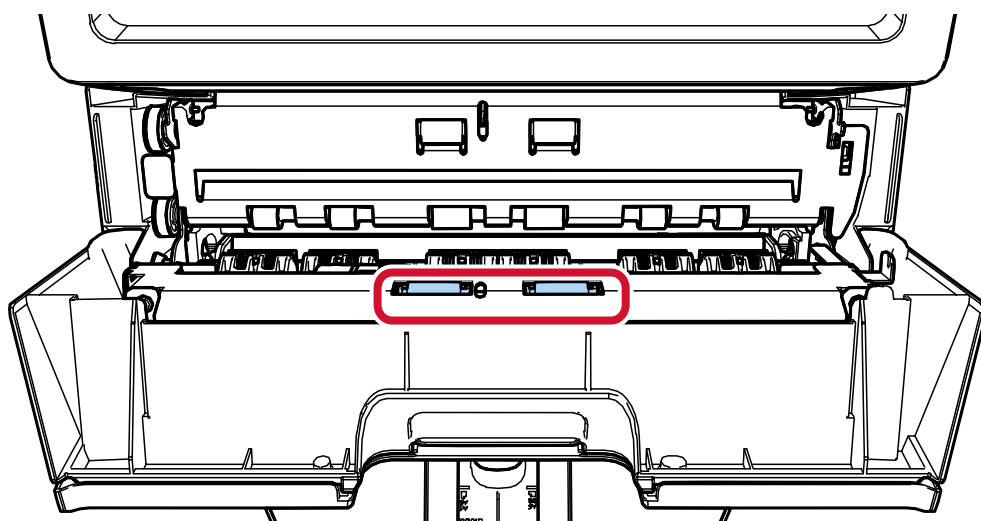
重要

清掃のときに、印字部（インプリンタカバー）側に付いている金属ローラーに触れないように注意してください。



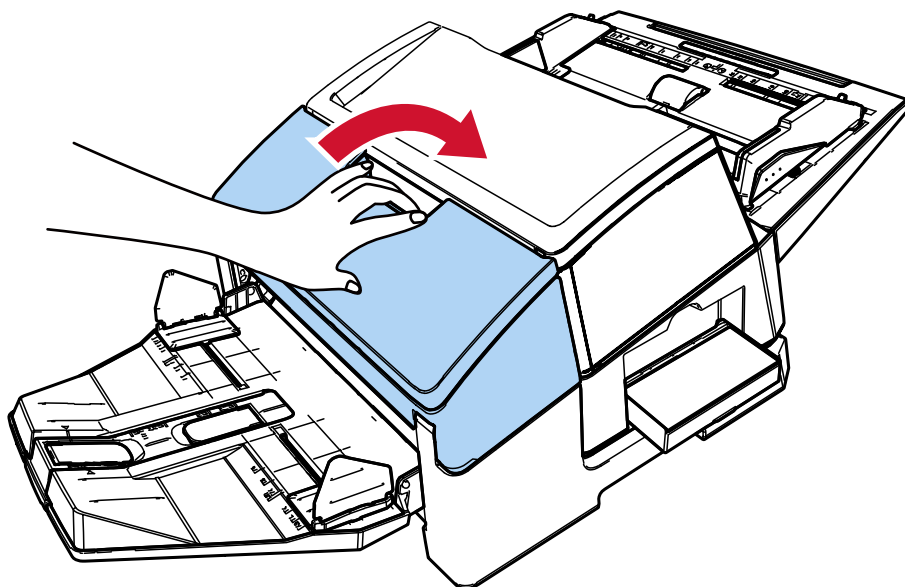
3 プラスチックローラーを清掃します。

印字部（インプリンタカバー）にある 2 つのプラスチックローラー（黒）を清掃してください。

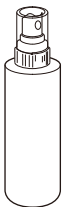


ローラー表面に、少量のクリーナ F1 をしみこませた布を軽く押し当ててよごれをふき取ります。
プラスチックローラーを指で回転させて、ローラー全体を清掃してください。

4 よごれがふき取られたことを確認し、印字部（インプリンタカバー）を閉じます。



清掃用品

品名	型名	備考
クリーナ F1 	FI-C100CF1	容量：100ml
クリーニングワイブ 	FI-C100CW	1 箱（24 袋入り）（*1）

*1：クリーニングワイブは、クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナーです。
クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用できます。

重要

清掃用品を安全に正しく使用していただくために、清掃用品に記載されている注意事項をよくお読みください。

清掃用品の詳細は、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU PFU ダイレクト \(53 ページ\)](#)にお問い合わせください。

エラーメッセージ

ここでは、インプリンタのエラーメッセージについて説明します。
液晶ディスプレイに、エラーコードとエラーメッセージが表示されます。表示されるエラーコードとエラーメッセージをもとに対処をしてください。

重要

記載されている内容以外のエラーメッセージの詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対処法
J1:5A エラー	原稿づまり	インプリンタで原稿づまりが発生しています。 以下の対処をしてください。 • インプリンタにつまった原稿を取り除いてください。 → 原稿づまりの解除方法 (35 ページ) • インプリンタで搬送できる原稿かどうかを確認してください。 → 仕様 (49 ページ) • ローラーを清掃してください。 → ローラーの清掃 (41 ページ)
U5:4A エラー (*1)	インプリンタカバーオープン	読み取り中に印字部（インプリンタカバー）を開けました。 原稿を取り除いて、印字部（インプリンタカバー）を閉じてください。 印字部（インプリンタカバー）が確実に閉じていることを確認してください。 確実に閉じていることを確認できない場合は、一度印字部（インプリンタカバー）を開けてから再度印字部（インプリンタカバー）を閉じてください。 → 原稿づまりの解除方法 (35 ページ)
U6:B4 エラー	プリントカートリッジなし	インプリンタでプリントカートリッジの取り付けに異常が発生しています。 プリントカートリッジが正しく取り付けられているかどうかを確認してください。 → プリントカートリッジの取り付け (17 ページ) 症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (53 ページ) に連絡してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対処法
U7:B9 エラー	印字領域異常	インプリンタで印字開始位置の異常が発生しています。 印字領域が原稿に収まるように印字開始位置、印字文字列を調整してください。 → 印字位置の合わせ方 (24 ページ)
A1:B3 エラー	インプリンタ異常 (通信タイムアウト)	インプリンタに異常が発生しています。 以下の対処をしてください。
A3:B6 エラー	インプリンタ異常 (EEPROM)	• プリントカートリッジが正しく取り付けられているかどうかを確認してください。 → プリントカートリッジの取り付け (17 ページ) • EXT ケーブル (インプリンタケーブル) を再接続してください。 • スキャナーの電源を再投入してください。 症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (53 ページ) に連絡してください。
A4:B8 エラー	インプリンタ異常 (ROM)	
A2:B5 エラー	インプリンタ異常 (印字ヘッド)	インプリンタに異常が発生しています。 以下の対処をしてください。 • プリントカートリッジが正しく取り付けられているかどうかを確認してください。 → プリントカートリッジの取り付け (17 ページ) • 交換用のプリントカートリッジがある場合は、プリントカートリッジを交換してください。 → プリントカートリッジの交換 (31 ページ) • EXT ケーブル (インプリンタケーブル) を再接続してください。 • スキャナーの電源を再投入してください。 症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (53 ページ) に連絡してください。
H6:B1 エラー	インプリンタ系異常	インプリンタの回路に異常が発生しています。 スキャナーの電源を再投入してください。 症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または株式会社

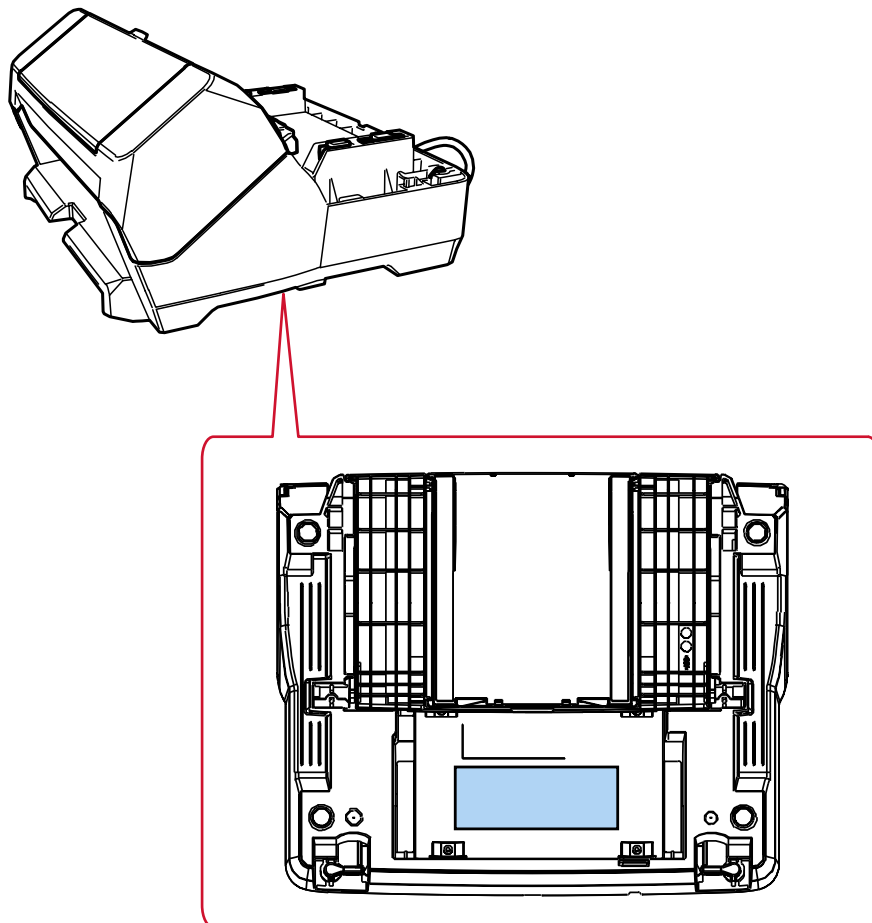
エラーコード	エラーメッセージ	対処法
		PFU イメージング サービス & サポートセンター (53 ページ) に連絡してください。

*1：スキャナーが待機中に、インプリンタの印字部（インプリンタカバー）を開けると、エラーコードは表示されず、エラーメッセージだけが表示されます。また、インプリンタの印字部（インプリンタカバー）が開いている間は、操作パネルのボタンは操作できません。

装置ラベルの確認

ここでは、ラベルの確認方法について説明します。

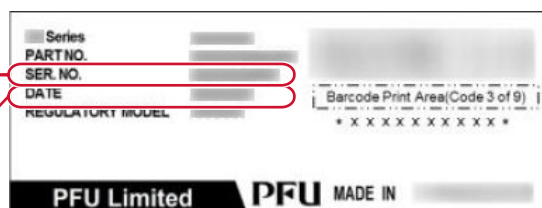
ラベルは、装置底面に貼付されています。



ラベル 例：インプリンタの装置情報を示しています。

シリアル番号

製造年月



仕様

項目	説明
印字方式	サーマル・インクジェット
印字タイプ	ポストインプリンタ（読み取り後に印字）、裏面印字
印字文字	アルファベット ：A～Z, a～z 数字 ：0, 1～9 記号 ：! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { } ~
印字文字数	最大 43 文字
印字方向	標準、太字 ：0°, 180°（横書き）、90°, 270°（縦書き） 細幅字 ：0°, 180°（横書き）
文字サイズ	標準、太字 ：2.91（縦）×2.82（横）mm（横書き） 2.82（縦）×2.91（横）mm（縦書き） 細幅字 ：2.91（縦）×2.12（横）mm（横書き）
文字ピッチ	標準、太字 ：3.53mm 細幅字 ：2.54mm
フォントスタイル	標準、太字
文字幅	標準、太字、細幅字
印字できる原稿	スキャナーで読み取りができる原稿 詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。 ただし、原稿のサイズおよび原稿の厚さは、以下のとおりです。 ● 原稿の最小サイズ（幅×長さ） 50.8×69mm ● 原稿の最大サイズ（幅×長さ） 304.8×431.8mm ● 原稿の厚さ 52～128g/m²（45～110kg/連） 重要 ● 以下のような原稿は読み取らないでください。 インクが乾きにくかったり、インクがしみこまなかったりして、印字不良となります。 また、インプリンタの内部もよごれて、清掃周期が短くなります。 - 感熱紙、熱転写用紙、コート紙、アート紙など、表面に光沢のある原稿

項目	説明
	クレジットカードのような厚みのあるプラスチック原稿、および A3 キャリアシートは読み取れません。
印字領域	A=5mm B=5mm C=5mm D=5mm 重要 原稿の端から 5mm の領域には印字をしないでください。
印字位置精度	搬送方向 ：±4mm（開始位置）
寸法	インプリンタ単体のとき ： 360（幅）×435（奥行き）×228（高さ）[mm] スキャナーに取り付けたとき ：360（幅）×435（奥行き）×264（高さ）[mm] 奥行きは、EXT ケーブル（インプリンタケーブル）、ADF 給紙シュート（フィーダー）、およびスタッカーを除く
重さ	4.2kg
動作環境	温度 ：10～35℃ 湿度 ：20～80%
消耗品	プリントカートリッジ（型名: FI-C200PC） ➔ サプライ用品の購入先 (53 ページ) 印字可能文字数 ： 4,000,000 文字（印字する文字により、印字可能文字数は異なります。）

項目	説明
	交換周期（目安）： 4,000,000 文字または開封後半年 （プリントカートリッジには使用期限が定められており、未開封と開封後の状態で寿命が異なります。パッケージに記載された取り付け期限までに使用を開始してください。）

修理・お問い合わせ

修理サービスのご案内

当社では、お客様に安心して業務用 イメージ スキャナー fi シリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入いただく契約サービスと、必要なときにその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

ヒント

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無償で修理いたします。
保証期間については、保証書を参照してください。

● 契約サービス（有償）

事前に契約を結んでいただくことで、ご購入後も万全のサポートを提供いたします。

● 定額定期保守サービス

年に1度サービスエンジニアが予防保守を行います。

万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。

● 定額訪問修理サービス

万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。

● スポットサービス（有償）

必要なときに、その都度ご利用いただけます。

● 訪問修理

本製品の故障発生時にご連絡いただくと、その後、サービスエンジニアが直接修理にうかがいます。

● 持込/センドバック修理（*1）

本製品の故障発生時にお客様の製品を当社の修理センターで修理します。

*1：センドバック修理で診断を行い交換部品が高額などの理由で修理をキャンセルされた場合は診断料が必要になりますので注意してください。

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.pfu.rioh.com/fi/support/maintenance-service/>

サービス内容は、予告なく変更される場合がございます。

詳細は、当社ホームページでご確認いただくか、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。

重要

- 本製品の修理はお客様自身で行わないでください。

- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は販売終了後 5 年間です。

お問い合わせ窓口

お客様からの業務用 イメージ スキャナー fi シリーズ全般に関する操作や故障・トラブルのお問い合わせに迅速に対応いたします。

故障・トラブルのお問い合わせのときは、型名（モデル名）、シリアル番号、症状（操作パネルのエラー表示、故障時期、故障頻度など）を事前に確認してください。

型名（モデル名）、シリアル番号は**装置ラベルの確認 (48 ページ)**を参照し、確認してください。

- **株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター**

お問い合わせ先

次のホームページをご覧ください。

<https://www.pfu.rioh.com/imaging/contact.html>

サプライ用品の購入先

清掃用品や消耗品のお問い合わせやご購入については、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU PFU ダイレクトにお問い合わせください。

- **株式会社 PFU PFU ダイレクト**

お問い合わせ先

ホームページ

<https://www.pfu.rioh.com/direct/>